



高津ハンドボール

OB・OG会 総会 開催される



2004年5月29日 於 大阪中央公会堂

次ページに当日の写真を掲載しています



平成16年5月29日 午後6時30分より
中之島の大阪中央公会堂において
額田(高5) 中江(高10) 柳(高11)
川上(高19) 太田(高30) 前川(高34)
の各氏が世話人となりOB・OG会設立総会が
開催されました。
当日は恩師や大勢のOB・OGが集まり、総会で
会則や役員を決議、その後の懇親パーティーで
は大いに盛り上がり旧交を温めました。

OB・OG感謝デーの御案内

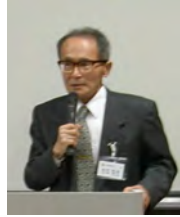
会費納入の御願い

← PAGE 4
御覧下さい



総会スナップ写真集……懐かしい顔を思い出しますか！

村田先生



今中先生



現役男子代表

現役女子代表



現監督 太田先生



総会参加者名簿

氏名	卒期
村田 弘	先生
今中 啓旦	先生
菊山 清	3期
烏野 栄一	〃
塩谷 修	〃
橋本 靖雄	〃
徳山 順一	〃
轟 正行	〃
田口 貞夫	〃
奥田 一郎	4期
額田 晃作	5期
榎本 秀一郎	7期
松田 一彦	〃
津田 祐司	〃
西田 武彦	8期
棚橋 征三	9期
福家 清美	〃
長屋 幸代	10期
乾 幸一郎	〃
中江 義雄	〃
永田 龍雄	〃
高橋 敏雄	11期
上田 修三	〃
柳 朝子	〃
大賀 康孝	12期
林 毅	13期
田中 聰吉	〃
井口 邦男	〃
寺田 美津子	14期
鈴木 栄太郎	15期
佐藤 健二	17期
亀井 八重子	〃
村上 多美子	〃
北村 弘江	18期
川上 貴司	19期
大地 庸元	20期
井崎 克史	〃
清水 昇	〃
片岡 純夫	23期
益田 多恵	〃
塚正 泰之	26期
中野 元博	〃
玉井 牧子	28期
山本 裕子	〃
秦 一二三	30期
大田 寛人	〃
西野 裕章	32期
古川 直樹	33期
辻本 裕子	〃
広政 真澄	34期
前川 義信	〃
ハン サンソン	36期
袋井 克子	38期
端山 愛	〃
和田 友子	〃
脇村 誠	39期
小林 千恵子	43期
西村 素子	〃
森安 隆嗣	〃
平山 大輔	45期
平沢 あず	49期
合計	61名

ハンドボール部OB・OG会
大阪府立高津高等学校
役員 事務局

- 【会長】
川上貴司 (高19期)
- 【副会長】
大地庸元 (高20期)
塚正泰之 (高26期)
玉井牧子 (高28期)
- 【財務幹事】
清水 昇 (高20期)
井崎克史 (高20期)

- 【選任幹事】
中江義雄 (高10期)
柳 朝子 (高11期)
渡邊斎頭 (高13期)
許斐建樹 (高14期)
鈴木栄太郎 (高15期)
久岡敏博 (高18期)
稲葉良幸 (高20期)
早島知雄 (高20期)
片岡純夫 (高23期)
山本裕子 (高28期)
太田寛人 (高30期)
前川義信 (高34期)
平澤あず (高49期)

- 【学年幹事】
若干名
- 【特別会員】
村田 弘 (高津高校旧職員)
田中さや (高津高校旧職員)
今中啓旦 (高津高校旧職員)
門田昌司 (高津高校旧職員)
- 【事務局】
大阪府立高津高等学校
同窓会事務局内 玉井牧子
(火曜・木曜)
TEL 06-4304-1448
mail kozu_dousoukai@ybb.ne.jp
- 【会報編集】 大地庸元

「ハンドボール」を通じ、母校現役とOB・OGを繋ぐ組織作りがようやく整い、去る5月29日の設立総会を経て、「高津高校ハンドボール部OB・OG会」はこれから皆さんと共に歩みだすことになりました。当日は、村田弘元全日本ハンドボール監督（高津高校旧職員）を始め歴代顧問の先生方、又懐かしい先輩方など大勢の方々の出席で随分盛り上がりました。又、それとは別に総会にて本会の役員、規約等重要な事柄が満場一致で取り決められましたが、多くの立派な諸先輩方がおられますのに、私のような若輩者が会長をせよということになり、少々戸惑いをかくせませんが、微力ながら他の役員と協力し本会の発展のためにがんばってまいりたいと思います。



「高津高校ハンドボール部」は長い歴史と伝統を誇り、数多くの優秀な選手や社会人を輩出してきた名門クラブであります。未だこのような組織がなかったこと自体高津らしいとか不思議でなりません。しかし今般機も熟し先輩たちの熱い想いを受けて本会が誕生したことは本当に慶ばしいことでもありますので、これから先色々なことがあろうかと思いますが、皆様方のお力により本会が末長く発展していくことを心より願っています。

さて、現時点での資料によりますと住所判明者が男女共約500名、不明あるいは物故者の方が約120～130名、合わせますと在籍会員数は都合600名を超える大所帯になります。又、未確認ではありますがハンドボール部第1期生の先輩がS. 14卒（中17期）となっていますので、およそ65年を超える伝統を積み重ね、三世代に亘る歴史を作ってきたこととなります。この間の事柄を今から正確に把握していくことはたいへん難しいことですが、できるだけ調べていきたく思っていますので、会員の皆様に関する情報など、どしどし事務局までお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

次に本会の目的であります現役への支援活動についてですが、その前に現役の現況について少し触れておきますと、現在部員数は男女合わせて60名を超えており、校内で抜群の人気クラブになっています。又、この度母校体育教官に復帰された「太田寛人」君（高30期）を始め、今まで在籍された顧問の先生方の熱心なご指導の甲斐もあり、特に女子部において成績は常に府下上位、最近どちらかと言うと私立高校優位の時代にあって、「高津ここにあり」ということで、これからはさらに上位を目指してがんばってみたいと願っております。

しかし、顧問の太田先生に「部」の現状を聞いてみますと、「ボール代、練習用具」等の費用負担も思いのほか多いようで、自分たちで集めた部費と、わずかばかりの学校からの援助を合わせても実際のところ運営面ではたいへん苦しく、「正直言って、先輩の皆さんから資金的な部分で助けて頂ければ一番ありがたいのですが。」というコメントでありました。



これらのことを考えますと本会の運営上どうしても皆様方からの物心両面、特に資金的なご支援が不可欠であります。その中身については別紙の通り本年の年間予算（案）を示させていただきましたので、「年会費」3,000円、そして「寄付金」の納入に格別のご理解をいただき、「高津高校ハンドボール部」の次の時代を担う若い世代に対し是非とも暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、来る11月6日（土）、「OB・OG感謝デー」という事で、皆様方と現役諸君との触れ合う機会を計画しております。ご家族の方々も一緒に現役諸君の元気なプレーを見てもらおうという試みでもありますので、是非とも一度お越しいただき現役諸君に一声かけてやって下さいますようお願い申し上げます。

最後になりますが総会当日、今期の「事業」並びに「予算」について、まだ具体的に計画案をお示していないうちから、「会の運営も始めから物入りで大変だろう。」という事で、当日出席された先輩方の中から「今期分の年会費、又寄付金」にと、多額のお志しを頂戴いたしました。

思わぬ事で、当日はお礼も申し上げることができず失礼をいたしました。さっそく今期の費用に充当させていただきます。遅まきながらではありますが、ご厚志を頂きました諸先輩の方々には、この書面を借りまして心より厚くお礼を申し上げます。

OB・OG各位のますますのご健勝を心からお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

11月6日(土) 午後1時 OB・OG感謝デー 高津に集まろう!



皆様の御支援に感謝申し上げます
平成16年11月6日(土)
午後1時～3時
高津高校グラウンドに於いて
OB・OG感謝デーを開催します

- 若手OB・OGの皆さんは、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配のOB・OGの方々にはフレッシュな現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体にやさしく・楽しい催し物を企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 小さな子供さんは、現役が面倒を見ますので、ご家族で気軽にご参加ください。
- 3時半から高校の食堂でノンアルコールで現役との交流会を開きますので遅れての参加も歓迎します
- 雨天の時は中止させていただきます。

会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。
また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。
先日の設立総会にては46名の方が2004年度会費を納めて頂きました。
その上多数の方より合計19万円もの寄付金を頂戴しました。
心より厚く御礼申し上げます

趣旨に賛同頂き **2004年度 会費 3000円**
又は **寄付金を納入して頂く方へ**

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2004年度会費納
入郵便振替用紙

UFJ銀行 生野支店
普通預金 NO. 3999316
口座名
「高津高校高校ハンドボール部
OBOG会」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒ or キフを付記してください

※※※ 書き方例 ※※※

「高津太郎 コウ99キ カイヒorキフ」

設立総会 精算書

当日会費	@5000×59人	295000
寄付金		190000
総会費	会場使用料・飲食費	▲213615
通信費	往復はがき・印刷料他	▲105180
雑費	写真等	▲4030
剰余金	2004年度予算へ繰入	162175

設立総会～2005年3月末

2004年度 予算

剰余金収入1	H15.8.25 開催のOB会 会費及び寄付23名分 106000円より 現役補助金50000円差引残金	56000
剰余金収入2	設立総会剰余金	162175
年会費収入	@3000×予測100名	300000
寄付金収入		???
現役補助費	ユニフォーム ボール等	▲210000
行事費	OB・OG感謝デー他	▲80000
通信費	はがき 切手他	▲80000
事務消耗費	印刷 用紙 封筒他	▲80000
雑費		▲20000
差引残高	2005年度へ繰越	48175



大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

2005年7月2日 第2回 OB・OG会 総会 開催 於 上六 南海飯店

本年(2006年)の総会は 7月1日(土) です

御挨拶

OB・OG会 会長 川上貴司

たいへん遅くなりましたが、会報第2号をお届けします。

第1号会報で年会費、ご寄付のお願いをさせていただきましたところ、本当にたくさんの方々からご浄財を頂戴致しました。あたたかいご支援に対し厚く御礼申し上げます。さっそく現役への援助として使わせて頂きました。

昨年7月2日、初めての試みとして「OB・OG感謝デー」を母校体育館で行い、現役との交流戦で久しぶりに心地よい汗を流し、その後場所を上六「南海飯店」に移して「総会」「懇親会」を開催、お互いの旧交を温めると共に、新入会員を交え大いに盛り上がりました。

現役の活動については、太田先生(高30期)の熱心な指導の下、特に女子部においては府下ベスト8の成績を残しています。私学優位、又、校内クラブの中でも健闘が光ります。部員一同さらに上位を目指し練習は勿論、勉強にも励んでいますので、これからも応援の程よろしく願いいたします。

今年4月1日、なにかと話題になりました木村智彦校長が辞職され、後任に徳永博正新校長が着任されました。新校長は母校(高19期)の卒業生で、たまたまですが、私と同期生になります。色々な機会を捉え、ハンドボール部への協力をお願いしてまいりたいと思っています。

母校で、H16年1月から同窓会事務局のお仕事をされておられ、私たちの会のお世話もお願いしておりました玉井牧子(高28期)さんが、4月末日で事務局を退任されました。長い間本当にご苦勞様でした。その為、私たちの事務局をしばらくの間私のオフィスに移動させていただきます。ご了承下さい。

みなさまへの会報のお届けが、諸事情が重なりたいへん遅くなってしまいました。申し訳なく思っております。そのため、今年度分(2005.4.1～2006.3.31)の会費のお願いは、総会当日頂いた方々を除き致しておりません。幸い、財政上支障なく今年度予算を当初計画通り実行させていただきました。

「会」もスタートしたばかり、私たち役員もなかなかペースがつかめず、何をどのように進めていけばよいのだろうか模索の連続です。色々にご不満な点も多いことは存じますがこれからも、よりよい「会」を目指し役員一同がんばってまいりますので、これからも「OB・OG会」にご支援賜りますようよろしくお願い致します。

会費納入の御願い

PAGE 4 御覧下さい



母校体育館にて

2005/07/02

OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい



未来のスター選手



楽しい総会懇親会でした…また今年も逢いましょう

今年(2006年)の総会は 7月1日(土) です

母校 ハンドボール部の現況

高津高校ハンドボール部OB・OGの皆様、いかがお過ごしでしょうか。今年も待ちに待った?現役との交流会並びに懇親会の季節がやってまいりました。



去年、おトシにめげず(失礼!)名(迷?)プレーを披露してくださったOB・OGの方々に今年もお会いできる、と現役部員達は、その日(7月1日)が来るのを楽しみにしております。もちろん、「一切手抜き無し」で、今年もハンドのお相手をさせていただきます!「スポーツ後の最高の一杯のため」という不純な動機でも全然かまいません。どうか、ご家族揃って母校へお立ち寄りくださいませ。



今春のインターハイ予選では男子が久々に大躍進を遂げてくれました。予選リーグで2勝をあげ、トップ通過。その中でも私学強豪の大阪商業大学附属堺高校を粘りに粘って1点差(11-10)で破った試合は大いに会場を沸かせました。中央大会出場とまでは行きませんでした。予選大会のちっちゃな「台風の目」にはなってくれたと思います。後輩達も、大いに刺激を受けたらしく、最近の練習には特に身が入っているように感じます。

女子は相変わらずの強さを維持してくれています。(南ブロック2位)「一度勝つことより、勝ち続ける事の方が数倍難しい。」とはよく言ったもので、先輩達に続けとばかり、年々少なくなる練習時間のハンデを、創意と工夫で乗り越え、今年のチームも「大阪府ベスト8」の座を、新人大会に続き2大会連続で獲得してくれました。今大会で府下ベスト5に入れば願いの「近畿大会」への出場権が得られる所だったのですが、5位決定トーナメントで北ブロック1位の箕面高校相手に、同点、延長戦にもつれ込む善戦をしたものの、僅差で及ばず涙をのみました。しかし、この悔しさを胸に、すでにモチベーションの高い新チームが始動しています。良い先輩が、良い伝統をつくり、それが代々後輩へと繋がって『無形の力』となって行きます。ここが高津ハンドの素晴らしい所。

今後とも、母校ハンドボール部の一層の活躍にご期待下さい!

高津高校ハンドボール部顧問 太田 寛人(高校30期)



新校長を訪ねて

2006年5月2日 於 母校校長室

五月晴れのさわやかな昼下がり、着任早々の第18代 徳永博正 新校長先生を訪ね、校門をくぐりました。ちょうどその日は実力考査ということで、シーンとした校舎の中、三沢・羽生校長先生の写真と、額田先輩作の大きなバラの油絵がかかっている広い校長室に通されました。

彼とは昭和42年に卒業以来約40年ぶりの再会になります。

たいへんご多忙の中でしたが時間を割いて頂き、2008年には創立90周年を迎え、学区制の大幅な見直しや、ますます厳しい競争の時代に入った高津高校の教育環境など問題が山積している中、どのように舵取りしていかれるのか、これからの抱負などもお聞きしてみました。

ハンドボール部の活動に大変ご尽力頂いている顧問の太田先生にも同席して頂きました。



川上 校長 「久しぶりです。ハンドにいた川上です。ようこそ母校へ、よろしくお願ひします。」
「ありがとう。こちらこそよろしく。私は文科系クラスでしたが、君はたしか理科系でしたね。」

川上 「そうです。君はG組、私はE組でした。私は現在ハンドOB、OG会の会長を引き受けているんですが、ここにおられる太田先生が指導されておられるので、今日是一緒させていただくことにしました。よろしくお願ひします。ご存知だろうと思いますが、ハンド部は伝統あるクラブで、現在約600名近い会員がおり、有名な選手も多く輩出しているんです。部員も多く女子は府下ベスト8とよく健闘していますよ。」

校長 「ハンドはよくがんばっておられますね。太田先生は本当に熱心な方と聞いています。」

太田 「ありがとうございます。勉強のほうも少しずつよくなってきているのでよろこんでいます。」

川上 「校長先生は、大阪府教育委員会に長くおられたと聞いていますが。」

校長 「そうです。学校へは大手前高校に3年前初めて出まして、それから高津高校ということになります。」

川上 「大手前はどうか。」

校長 「以前は旧制女学校で、名門高校ということもあり勉強も熱心で、苦労はあまりありませんでした。」

川上 「着任1ヶ月ですが、高津の印象はどうですか。」

校長 「校舎は新しく建替わっていますが、学校の雰囲気は以前とあまり変わっていないように思います。」

川上 「雰囲気がまったく変わってしまい、私としては少し残念なところもありますが、ところで、木村校長のあとを引き受けられ課題も多いことと思いますが、これからどんなことに取り組んでいかれますか。」

校長 「学区が大きく再編されるので、今までお付き合いのない中学校から生徒を受け入れることになります。初めてのことで、私としてはぜひ高津に来ていただけるよう、色々な面で高津の特徴や良さを中学校の先生方にアピールしていこうと思っています。実は、今日も各中学校をまわってきたところなんです。」

川上 「それはご苦労様です。企業と同じですね。高津の良い伝統などぜひがんばって紹介して下さい。それと、やはりクラブ活動についても力を入れ、大会などで名前をアピールすることも必要だと思います。」

校長 「その通りです。文武両道の精神、特にスポーツにおける効果は大きいものがあります。」

川上 「最近、大学では文化、スポーツ分野の推薦制度をどんどん充実させてきています。以前と比べれば隔世の感がありますが、私の卒業した関学でも、ほとんどの学部で推薦制度を導入しています。私たちと同期生の松本有一君などは、経済学部の教授ですが、ハンド部の特別顧問として現役の面倒を見てくれています。」

校長 「ありがたいですね。いろんなところで同期生にお世話になりますね。ところで、現在ハンドの部員はたいへん多いと聞いていますが、新入部員は入りましたか。」

太田 「はい、10人ほど入部しましたが、全員経験者ではありません。3年生の夏までがんばってクラブを続ける子がほとんどですが、勉強もがんばっていますので、進学レベルが上向きになってきました。男子部もそれに刺激を受け、練習にも欲が出てきたようで、先日の強豪大商大付属堺高校との試合ではシーソーゲームを1点差で勝ちました。今までになかった事で、たいへん喜んでます。」

川上 「それは良かったですね。勝つことがたいへん良い薬になります。次へのステップになりますが、練習時間はどれくらいですか。」

太田 「そのことですが、思うように練習時間が取れていないのが実情です。授業時間の関係もあり、下校時間が決まっていますので、その間に各クラブの練習が一時に集中してしまいます。又、秋から冬にかけては日没の関係で一層練習時間が制約され、たいへん危険な状況も出てきますのでいろいろと悩んでいるところです。」

川上 「練習をじゅうぶんしないと強くなれませんが、それは困りましたね。グラウンドに照明設備があると聞いていますが、使えないのですか。」

太田 「前校長にお願いはしていましたが許可がおりず、そのままになっています。」

川上 「今のことについてですが、何とかご検討していただけませんかでしょうか。」

校長 「分かりました。これから他クラブの活動状況を一度よく調べてみましょう。少し時間を頂きたいと思います。」

川上 「今日はたいへんお忙しい中、私たちのために時間を割いていただきありがとうございます。ぜひ高津高校、名門復活のためにがんばっていただきたいと思います。又機会があれば総会にも一度お招きしたいと思っていますので、その節はよろしくお願ひします。長い時間ありがとうございます。」



挨拶が終わり、私たちが校長先生自ら校舎の出口まで見送ってくれましたが、その姿から彼の母校に対する並々ならぬ想いがこちらに伝わってきたように感じました。

これからの徳永新校長の手腕に、大いに期待したいと思います。

(川上 記)

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。
また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。
何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2006年度 会費 3000円
又は 寄付金を納入して頂く方へ



同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします



会費納入・寄付金のお願い!

2006年度会費納入郵便振替用紙	三菱東京UFJ銀行 生野支店 普通預金 NO. 3999316 口座名 「高津高校ハンドボール部 OBOG会」
------------------	---

【振込人名】には卒業年度と
カイヒ or キフを付記してください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ カイヒorキフ」

2004年度 決算 設立総会～2005/03/31

2005年度 決算 2005/04/01～2006/03/31

剰余金収入1	H15.8.25 開催のOB会 会費及び寄付23名分 106000円より 現役補助金50000円差引残金	56000
剰余金収入2	設立総会剰余金	162175
年会費収入	@3000×98名	294000
寄付金収入		131000
現役補助費	ユニフォーム 等	▲178584
会報費	印刷・発送費等	▲74577
通信費	はがき 切手他	▲48310
事務消耗費	用紙 封筒他	▲15537
雑費	振込手数料等	▲3180
差引残高	2005年度へ繰越	322987

繰越金収入	2004年度 繰越金	322987
年会費収入	@3000×43名	129000
寄付金収入		216000
総会費収入	当日会費 5000円×38名	190000
総会費	2005年総会 南海飯店払	▲291049
現役補助費	ユニフォーム・ボール・ ゴールネット等	▲250000
会報費	印刷・発送費等	▲0
通信費	はがき 切手他	▲105000
事務消耗費	用紙等事務用品	▲2410
雑費	振込手数料等	▲70
差引残高	次年度繰越	209458

上記決算に間違いありません 清水昇・井崎克史

ハンドボール部 OBOG会 大阪府立高津高等学校 役員 事務局	【会長】 川上貴司 (高19期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 村田 弘 (高津高校旧職員) 田中さや (高津高校旧職員) 今中啓旦 (高津高校旧職員) 太田正人 (高津高校旧職員) 門田昌司 (高津高校旧職員)	
	【副会長】 大地庸元 (高20期) 塚正泰之 (高26期) 玉井牧子 (高28期)		【事務局】 大阪市浪速区難波中1-6-4 光洋商事株式会社内 川上貴司 TEL 06-6645-1901 mail : takashi-fm324@ams.odn.ne.jp	
	【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)		【会報編集】 大地庸元	



第 3 号

発行日 2007年6月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第3回 OB・OG会 総会 開催される



2006年7月1日 於 上六 南海飯店 (高津ガーデン隣)

当日の写真をPage 2 - 3に掲載しています

本年 (2007年) の感謝デーと総会は、7月7日 (土) です

OB・OG感謝デーの御案内

会費納入・寄付金のお願い!

Page 4 を御覧下さい

OB・OG会の愛称募集中!

センスあふれる名前をどしどし
事務局までお寄せください
お待ちしております

【事務局】

〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8 千日前M'sビル7階
光洋商事株式会社内 川上貴司
Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903
E-mail: takashi-fm324@ams.odn.ne.jp

詳細は
Page 2 を
御覧下さい

母校グラウンドにて



2006/07/01



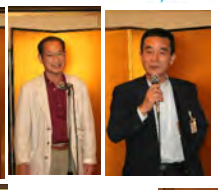
OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい



昔の！
スター
プレーヤー



総会 南海飯店にて



乾杯！



楽しい総会懇親会でした・・・また今年も7月7日(土)に逢いましょう

御挨拶

会報第3号をお届けします。昨年は、多くのOB・OGの方々から、たくさんのご浄財をいただきました。あたたかいご支援に対し、心よりお礼申し上げます。

昨年7月1日、OB・OG感謝デーを母校グラウンドで、また、総会を「上六 南海飯店」で開催しました。大先輩から若手まで、たくさん参加いただき、ありがとうございました。グラウンドでのOB・OG戦では、往年の名プレーヤー、柳朝子(旧姓 浅野11期)さん、奥田高弘(14期)さんも出場、並み居る若手に混じり、おおいにご健在ぶりをアピールされました。また、暑い中にも拘わらず、私たちのために走り回ってくれた現役諸君の姿が何とも爽やかで、久しぶりにすがすがしい気分を味わうことができました。現役に関しては太田(顧問)先生の指導により、女子部は常に大阪府上位にランクされていますが、最近、男子部も女子部に負けじと奮起、かなり力をつけてきていると聞いています。今年はグラウンドへお越しの上、ぜひ現役と一緒に汗を流してみてください。



学校をとりまく環境が大きく変わりました。昨年、徳永博正校長が体調不良のため、着任早々退任され、新しく田中保和新校長が9月に着任されました。また、少子化のため通学区の見直しがあり、従来の5, 6, 7学区が新3学区に改編されました。その結果、天王寺高校などの有力校と同じ学区になりましたので、これからはますます学校間競争が激しくなり、高津らしさが問われ、勉強は勿論のこと、クラブ活動も今まで以上に重要視されることになるでしょう。このような時代だからこそハンドボール部が中心になって、他のクラブをどんどん引張って行ってもらいたいと願っていますが、残念ながら練習時間の制約等、まだまだ練習環境の点で整っていないところもあると聞いています。幸い新校長は本校出身者(21期)です、クラブ活動へのご理解をより一層深めていただくと共に、練習環境の整備をお願いしていこうと思っています。

最後に、「高津高校ハンドボール部OB・OG会」の愛称を広く皆さんから募集することになりました。

応募作品の中から「会」が一番ふさわしい愛称を今年7月の総会で決めたいと思っています。どしどし事務局までお寄せください。ありがとうございました。 OB・OG会会長 川上貴司



母校ハンドボールクラブの現況

インターハイ予選は4月29日から始まり、5月3・4日は高津高校を会場として、中央大会(大阪府大会)出場権のあるベスト4進出を賭けた試合や準決勝・決勝が行なわれました。

男子部は「今年こそ中央大会へ!」と意気込んでいましたが、惜しくも予選リーグ1勝1敗となり、トーナメント戦へ勝ち残れず、3年生は引退となりました。

女子部は、今回も予選リーグ「天王寺」「三国丘」に2勝して1位で予選トーナメント戦に進出、ブロック大会ベスト4に入り、次の大会(夏)のシード権を獲得!さらに「堺東」に走り勝って、決勝へ進出!決勝では、目標である私学古豪「大谷高校」に惜しくも4点差(7-11)で敗れはしたものの、高津の身体を張った一進一退の攻防に、会場につめかけた多くの保護者はじめ観客が大いに沸きました。初心者ながら、なかなかパワフルで素直な新2年生(GKを含む)が何人か先発出場しての結果だけに、今大会はもちろん、夏以降の大会に期待が持てそうな予感がしています。



インターハイ予選南ブロック大会準優勝となり、5月27日から堺市で開催される中央大会(大阪府ベスト12校からなる決勝トーナメント戦)で、北ブロック3位の春日丘高校と対戦する事が決まりました。難敵ですが、うまく勝てれば昨年度の全国選抜大会大阪府女子代表校である四天王寺高校に挑戦できます。「初心者ばかりの集団が、どこまで全国上位校を苦しめられるか」・・・ぜひ、勝ち残らせたいと思います。また、記念大会である今年度に限り、12校のうち6校(例年は5校)が7月に和歌山県で開催される近畿地区大会への出場権を得ることができるので、何とか女子部初?の『近畿大会出場』という、私が高津に赴任以来掲げてきた目標の一つを達成したいです。そのためには、たとえ四天王寺戦に敗れてもモチベーションを高く維持して順位決定戦に勝ち残らなければなりません。6月中旬まで続く長い道のりです。OB・OGの皆様の暖かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。

7月7日の今年度本校ハンドボール部OB・OG総会及び現役交流会の際、皆様に、よい報告ができますよう部員とともに頑張ってきます!
高津高校ハンドボール部顧問 太田寛人(高校30期)

寄稿「のじぎく兵庫国体に出場して」

大学を卒業して以来、仕事とチームの都合でほとんど練習は出来ない状況ですが、大阪教員チームで競技を続けています。高津高校でハンドボールに出会ったころは、こんなに長い間プレーを続ける、好きになるなんて考えもしませんでした。高校とは競技レベルの違いすぎる大学で競技を続けること、怪我、CPからGKへの転向など、たくさん悩みもありましたが、気がつけば競技歴15年目に突入しました。いつのまにか、趣味ハンドボール・特技ハンドボールになっています。

これまで大阪代表には何度か選出していただきましたが、今回の兵庫国体は最年長での参加になり、これまでとは違った気持ちで臨む大会となりました。組み合わせもよく、上位進出のチャンスだと考えていましたが、残念ながら、チームの力不足、意識の低さ、私自身の練習不足・力不足で初戦で敗退してしまいました。分かっていたつもりでしたが、技術以上に気持ちの大切さ、ハンドボールという競技の難しさを身に染みて感じました。悔しい思いもありますが、今持っている自分の力で精一杯プレーすることができ、応援していただいた方々、大会を運営していただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。あらためて、これまでいろいろな人に支えられて、今の自分があるのだと感じました。

今後、今回の経験を生かして、少しでも長く競技を続けられるよう努力したいと思います。また、教員として、子どもたちにハンドボールの楽しさ、一つのことに夢中になることの素晴らしさを伝えていきたいと思っています。それが母校への、ハンドボールへの恩返しになればと思います。

最後になりましたが、今回、のじぎく兵庫国体に出場するにあたりまして、OB・OGの皆様方に温かい激励のお言葉をいただき、また、素敵なお集まりにご招待いただきまして、ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。
平成9年卒 平澤あず(高49期) 此花総合高等学校

7月7日(土) 午後2時 OB・OG感謝デー 高津に集まろう!



皆様の御支援に感謝申し上げます、平成19年7月7日(土)午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

**総会・懇親会は、7月7日夕方
6時～8時、高津ガーデン
(8階たかつ西)
で開催します。**

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分
TEL. 06-6768-3911
(天王寺区東高津町7-11)



- 若手OB・OGの皆さんは、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配のOB・OGの方々にはフレッシュな現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体にやさしく・楽しい催し物を企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 小さな子供さんは、現役が面倒を見ますので、ご家族で気軽にご参加ください。
- 体育館が使用できない場合、雨天中止とさせていただきます。

2006年度 決算

2006/04/01～2007/03/31

繰越金収入	2006年度 繰越金	209,458
年会費収入	3000×83名	249,000
寄付金収入		149,000
総会費収入	6000×39名, 3000×11名	267,000
総会費	2006年総会南海飯店払	▲253,685
現役補助費	ユニフォーム等購入	▲156,141
会報費	印刷・発送費等	▲53,100
通信費	はがき 切手他	▲63,240
事務消耗費	用紙等事務用品	▲5,722
雑費	振込手数料, 壮行祝等	▲20,350
雑収入	銀行利息	10
差引残高	次年度繰越	322,230

会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き **2007年度 会費 3000円**
又は **寄付金を納入して頂く方へ**

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2007年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金 NO. 3999316
口座名
「高津高校高校ハンドボール部
OBOG会」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒ or キフを付記してください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ カイヒorキフ」

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

【会長】 川上貴司 (高19期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 今中啓旦 太田正人 門田昌司
【副会長】 大地庸元 (高20期) 中野元博 (高26期) 玉井敦子 (高28期)		【事務局】 川上貴司
【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)		【会報編集】 大地庸元 中野元博
【顧問】 橋本靖雄 (高3期)		



第4号

発行日 2008年6月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第4回 OB・OG会 総会 開催される



2007年7月7日 於 上六 高津ガーデン

2007年感謝デー・第4回総会(懇親会) スナップ写真集



OB・OG戦



乾杯!

校歌♪



母校 グラウンドにて



総会
ご挨拶



本年(2008年)の感謝デーと総会は、7月5日(土)です

2007年感謝デー・第4回総会（懇親会）スナップ写真集



2007/07/07

母校グラウンドにて



OB・OG戦 この勇姿をご覧ください



頑張ってます！



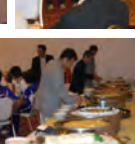
昔の！スタープレイヤー

ご支援！よろしくお願いします

総会・懇親会
高津ガーデンにて



今年も
7月5日
に逢い
ましょう！



ご挨拶（母校ハンドボールクラブの活躍）

高津高校ハンドボール部OB・OGの皆様、いつも現役生に温かいご支援・ご声援をいただき、ありがとうございます。ハンドボール部の副顧問をしております、社会科の前田美穂です。主顧問の太田先生と同じ平成15年度に着任し、本校での勤務も今年で6年目をむかえました。私自身、高校時代、府立高校のハンドボール部に所属し、光栄にも本校旧職員で、OB・OG会の役員でいらっしゃる、村田弘先生よりご指導いただくことができました。当時、村田先生が2Fにある体育教官室からゆっくりとした足取りで降りてこられると、「あっ村田先生だ！」→「えっどこどこ？」→「うわあ、こっちへ来られるよ」→「まっ、まずい(?)」…“第一発見者”から皆に伝令がいきわたります。コートの横からじっと眺めておられるだけで威厳があり、つい力んでしまってシュートははずすなどといったこともありました。「頭を使ったプレーをする」「自分を甘やかさない」ことを、厳しい姿勢で、また時に優しく教えてくださいました。練習方法や用具、試合のルールなど、時代とともに変わってきたものは多くありますが、「ハンド大好き！」の気持ちと「次は絶対勝ちたい！」と、努力する、若者らしいひたむきさは今も当時も同じで、それゆえ、その頃の前向きだった気持ちを思い出させてくれる生徒たちに、心を洗われる気がします。現役の部員たちは、太田先生の指導のもと、毎日、短い練習時間を効率よく使って、頑張っています。“集中力の高さ”と、“こうなりたいというイメージを常にもっている”ところが、高津高校のハンド部の部員たちのすばらしさだと感じています。



さて、ここで現役の3年生の活躍をご報告させていただきます。昨年11月に行われました、「平成19年度大阪高校新人大会 南ブロック大会（南北2ブロック制）」において、女子が大谷高校をやぶり悲願の初優勝、男子も準優勝という素晴らしい成績をあげ、男女そろって中央大会出場を果たしました。堺市の家原体育館で行われた中央大会において、女子は、2回戦（準々決勝）に進出したものの、大阪福島女子に8-25で敗れました。また男子は1回戦で善戦するも、府立東豊中・千里青雲に12-18で敗退。しかしブロック大会から1試合ごとに成長して潜在的な力を発揮し、何よりも、やればできるという自信を身につけることができたのは大きな成果だと思います。男女ともこの活躍により、平成20年度インターハイ予選（4/27~）に於いて、南ブロック大会でシード権を獲得することができました。また、19年度新人大会南ブロック大会の優秀選手に、男子2名・女子4名が選ばれ、さらに男女3名を加えた、計9名が南ブロック選抜チームのメンバーに選ばれるという快挙をなしとげました。

現在、平成20年度インターハイ予選が行われています。結果については、次の機会にあらためてご報告させていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。 高津高校ハンドボール部副顧問 前田美穂

額田晃作油彩展を見て

5月3日に川上会長と額田画伯の個展（近鉄百貨店阿倍野店美術画廊）に伺いました。額田先輩（高校5期）が独立美術協会会員として審査する立場にある高名な画伯であることを知らず、会場に飾られた力強い数々の絵と150名近い来場者に圧倒されました。当日は約1時間のトークショーで額田画伯を丸裸にする企画があり、歯科医との両立や9回を数えるエチオピア取材（ランクル3台にシェフまで同行）のエピソード、なぜバラの絵を描き続けているのかなど笑いを交えたトークが展開されました。額田画伯はエチオピアについてprimitiveが残っている貴重な地であるが、徐々に文明の波が押し寄せており「行くなら今のうち」と強調されていました。今回の個展では、油絵だけでなく素描や陶芸品も出品され額田画伯の多才さが十分に感じられるものでした。最後に、素人がどうしても気にする絵の値段ですが（私だけでしょうか）新体操を描いた120号の「空」という作品で315万円でした。同行した家内は小さい薔薇の絵でもいいからほしいと申しおりましたが、それに釣り合う部屋がないのでやめておきました。近鉄百貨店で毎年開催されている個展の他、国立新美術館で10月に開催される独立展でも先輩の作品を鑑賞することができますと思います。



塚正泰之（高校26期）

田中保和校長先生を訪ねて

昨年の感謝デーの際、OBOGと現役の試合を観戦にグラウンドにまで来ていただいた校長先生を撮影した写真を持って、5月8日に川上会長と母校を訪問しました。体育の授業で掛け合う声が聞こえる中、校舎に入って校長室に通され、額田先輩作の大きな薔薇の油絵を拝見しました。ハンドボール部顧問の太田先生にも同席して頂き、創立90周年を迎えた高津高校の教育に対する所信を田中保和校長先生にお聞きしました。



- 会長『太田先生が頑張ってください、女子部が新人戦南ブロック優勝、男子が準優勝できました。』
- 校長『先日女子ハンドが中央大会進出を決め、頑張っていますね。試合をするたびに強くなっています。』
- 会長『今日は校長先生のご紹介を会報に載せさせていただきたく、よろしくお願ひ致します。さて、先生が、FROM KOZUにお書きになっておられる「教育の目標」に、「自由と創造」があり、さらに、強靱なる「知性」、みずみずしい「感性」、品格のある「人間性」の三つを掲げておられますね。』
- 校長『簡潔に言うと、学校に来て良かった。この高津に来て、立派な大人に成長できた。そういう学校にしたい。「強靱な知性」とは単に学力だけでなく、自分で考えて判断できるような「知性」が無ければいけない。当然、高津の場合は進学校ということで、進学実績というものが要求されるのですが、学力はあるが、人のことが考えられない学生ではダメです。硬くてポロッと簡単に折れてしまうような脆いものではなく、どんな状況の中でも耐えられ、強く、しなやかに対応できる知力を身に付けて欲しい。』
- 会長『幅広く、人間性を加味したような「知性」ということですね。』
- 校長『みずみずしい「感性」、これは今の時代の子供に一番欠けているところだと思うのです。学習活動だけではなく、クラブ活動や体育祭・文化祭などの機会を通じ、人を思いやる気持ち、芸術、良いものに触れて感動する気持ちを身に付けさせたい。創造性のある活動を営むためには、美しい情緒が必要です。情緒と形を大切にすると人間性、周りから信頼されて尊敬される「品格ある人間性」を備えた人に育てて欲しいと考えています。結局、それぞれが、今の子全般に欠けているところだと思います。』
- 中野『大学生になっても「自分から進んでやっていく」という積極的な姿勢が不足していると思います。』
- 校長『創造の方が弱いんですね。自由は謳歌していて、マナーの方が心配なので、去年から挨拶運動を始めました。生徒は挨拶できないのではなくて、照れているんです。最初は教員から声掛けをして挨拶していましたが、二度、三度と繰り返せば自然に挨拶します。運動部の子は前から大きな声で挨拶してましたね。』
- 太田『昨日も私の同級生が訪ねて来て「皆、すごく挨拶するようになったなあ！」と感心して帰られました。』
- 会長『ところで、学区が大幅に広がりましたが、何か影響がありましたでしょうか？』
- 校長『同学区の天王寺はネームバリューがあり、志望者が多いのですが、結果的に、高津も競争率が1.35倍と高くなりました。「自由」に惹かれてくる生徒もいます。』
- 会長『なるほど。ハンドボール部は、もちろん頑張っていますが、ほかのクラブは、いかがですか？』
- 校長『化学部は、全国化学グランプリで大賞をとりました。サッカー部、ワンダーフォーゲル部、ラグビー部なども頑張っています。クラブを活発にしていって、笑顔あふれる学校にしたいと思っています。』
- 会長『本日はお時間をいただき、ありがとうございました。今後ともご支援の方よろしくお願い致します。』

田中校長先生が着任されて、すぐにナイター照明を点くようにしていただき、部活動が活発になりました。母校ウェブページのトップにハンドボール部員の笑顔が映し出されてきますので、是非、一度ご覧ください。創立90周年を迎えてスーパー・サイエンス・ハイスクールの指定を受け、今後の飛躍が楽しみです。 中野元博（高校26期）

7月5日(土) 午後2時 OB・OG感謝デー



[母校webpage 1]

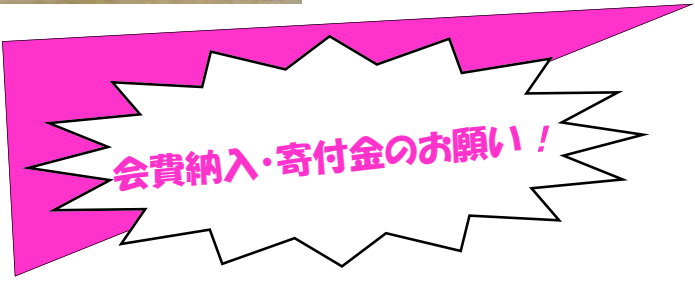
高津に集まろう!

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月5日(土) 午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いて OB・OG感謝デーを開催します。

- OB・OGの皆さん、久しぶりに現役とゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 小さな子供さんの面倒を現役が見ますので、ご家族でお気軽にご参加ください。
未来の!スタープレイヤー [中川雅博(高33期)jr.]⇒
- 体育館が使用できないため雨天中止です。

総会・懇親会は、7月5日夕方 6時～8時、高津ガーデン (2階コスモスの間) で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分
TEL. 06-6768-3911
(天王寺区東高津町7-11)



当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。毎年、600通以上の会報を発送し、20万円以上の現役補助費を検出するには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き **2008年度 会費 3000円** 及び 寄付金を納入して頂く方へ

同封の郵便振替用紙を使用頂くか 銀行振込をお願いします

2008年度 会費納入 郵便振替 用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金 NO. 3999316
「高津高校高校ハンドボール部 OB・OG会」

【振込人名】に卒業年度/会費/寄付を付記ください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津花子 コウ99キ カイヒ キフ」

2007年度 決算

2007/04/01～2008/03/31

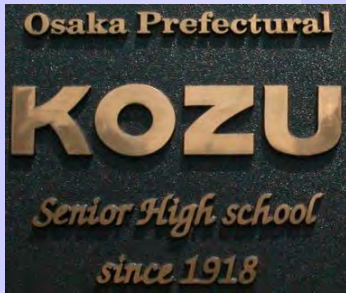
繰越金収入	2007年度 繰越金	322,230
年会費収入	3000×81名	243,000
寄付金収入		153,000
総会費収入	6000×30名	180,000
総会費	高津ガーデン払	▲279,568
現役補助費	ユニフォーム等購入	▲253,450
会報費	印刷・発送費等	▲87,169
通信費	はがき 切手他	▲44,000
事務消耗費	振込み用紙	▲5,100
雑費	振込手数料	▲6,050
雑収入	銀行利息	222
差引残高	次年度繰越	223,115

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

【会長】 川上貴司 (高19期) 【副会長】 大地庸元 (高20期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 玉井牧子 (高28期) 【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期) 【顧問】 橋本靖雄 (高3期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊齋顕 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美徳 【事務局】 川上貴司 【会報編集】 大地庸元 中野元博
--	---	---

感謝デー・総会への出席、会報送付先の変更は下記にご連絡ください。当会運営充実のため、選任幹事を募集します。自薦・他薦を問いません。特にOG役員や高30期以後のOB役員の推薦を下記に連絡をお願いします。

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8 千日前Msビル7階 光洋商事株式会社内 川上貴司
Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903 E-mail: takashi-fm324@ams.odn.ne.jp



第 5 号

発行日 2009年6月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第5回 OB・OG会 総会 開催される



2008年7月5日 於 上六 高津ガーデン

本年(2009年)の感謝デーと総会は、7月4日 (土) です

2008年 感謝デー・総会(第5回) スナップ写真集

母校グラウンドにて



女子ハンドボール 創部の思い出 !!!

5月9日、旬和席うおまん西梅田本店に、額田 晃作[高5期]、福家(旧姓:菊井)清美 [高9]、中江 義雄[高10]、柳(旧姓:浅野)朝子[高11]、中井(旧姓:井上)晴子[高11]の大先輩5名にお集まりいただき、女子ハンドボール創部の思い出を、川上 貴司[高19]、中野 元博[高26]、太田 寛人[高30] の3名で、お聞きしました。

川上「昨年、現役女子部が近畿大会に出場した際にその歴史を問われ、X'mas に創部の経緯について情報提供をお願いしたところ、辻本先輩から、1通のメールをいただきました。」

中野「そのメールを OBOG 会報に載せようと思ひまして、ここに印刷してきました。」

高津高校ハンドボール部 御中 (2008/12/26)

- ・私は昭和32年卒業の辻本陽之助です。
- ・いつも会長の川上貴司様より、ハガキにて活動のご様子を伺っており、ありがたく、活躍ぶり、うれしく思っています。
- ・まずもって、この度、女子ハンドボール部がめでたく『第51回近畿高等学校ハンドボール選手権大会』への出場を勝ち取られたこと、誠にめでたくございます。
- ・このたびの出場は、女子ハンドボール部創設にかかわった私としては、喜び『一入(ひとしお)』の思いであります。
- ・良い機会なので、事情を知る者として、その経緯を、以下、簡単に記させていただきます。
- ・女子ハンドボール部の創設の経緯は、私が男子ハンドボール部の Captain をしていた時、同じく同期の Manager をやっていた、すでに故人となってしまわれた佐竹貞夫氏と、確か高校2年生の終わり頃だったと思いますが、ともに Captain & Manager を務めるにあたって、『他の運動部は男女ともにあるのにハンドボールが男子だけではさびしいじゃないか!』、『ここは、部の顧問先生の田中さや先生に相談して、二人で何とか作ろうじゃないか!』ということで、先生の賛同を得て、主として故佐竹氏が主導して、有志を募り始めた次第です。
- ・最初に基本 Concept を相談し、「健康で」、「明るくて」、「活発で」、「積極的で」、...、そして何より「美人」の人たちを誘おうということになり、まず、福家清美(旧姓:菊井)さんを誘い、福家さんが中心となって、続いて俊足の高本登志子(旧姓:吉川)さん、長身の浅田幹子(旧姓:石丸)さん、さらに続いて剛腕の榊取恭子(旧姓:北島)さんを誘い、初期の Member となっていたいただいた次第です。
- ・したがって創立に係る最大の功労者ということになると、残念ながら今は故人となってしまわれた佐竹貞夫氏ということになるかと思いますが、さらに続いて上記の福家清美(旧姓:菊井)さんを中心とする初期の創設 Member と言うこととなります。
- ・そのようなわけで、部の創設時は男子の練習もさりながら、女子部員の勧誘が大きな関心事で、ともに、わくわくしたものですし、一方、男子のやる気も上昇し、肝心の試合成績も、なんと冬季大会では最高 Best3 まで行くことができ、沢山の思い出を作ることができました。
- ・また、女子部創設初期には、男子部の大先輩、額田晃作氏のご指導も大きかったと記憶しております。
- ・そのようなわけで、今後一層のご活躍を祈念しております。
- ・歳の瀬にうれしい News をありがとうございました。皆様もどうか良いお年をお迎えください。

辻本陽之助(高9期)

中野「このメールに創部の中心とある福家様に、お話を伺いたいと思い、この会を企画致しました。」

福家「今、メールを拝見して、びっくりしています。」

太田「美人を面接したと書いてありますでしょ。かわいい子に声をかけたと辻本さんが言っておられますね。」



福家「私は佐竹さんに声をかけられました。学年で1番の美人、同級生の吉川(高本登志子)さんと石丸(浅田幹子)さんに、どなたに声をかけられたのと電話で聞きましたら、男性ではなく、顧問の田中さや先生からの返事でした。田中先生が、運動神経も良かったお二人を授業中に見て、誘われたようです。」

中江「みんな、美人やった!」

福家「北島(榊取恭子)さん、一年下の方、特に、芸術大学に入られた前川(野中寿々子)さん、美人でしたね。写真を持ってきたら、よかったですね!」

太田「高校5期の額田さんがコーチだったのですね。」

中江「山中さん(高6期)も、よく来られていましたね。」

太田「男子も女子も、昔はOBがコーチされていましたから。」

福家「私たち、OBの方々は、仕事があるのかな?と聞いていました。」

中江「榎本さん(高7期)や、津田さん(高7期)、本当に入れ替わりで多数のOBが来てくれていました。」

福家「きつい練習を強いる先輩には、田中さや先生が私たちを呼び集めて、敵は本能寺にあるのだから、気を付けなさいって!」

中江「山中さんや額田先生は、そんなに無茶苦茶なことは、しなかったですね。」

額田「山中さんは、去年、亡くなられた。残念やったなあ。」

柳「創部の時に、話を戻しましょう。」

福家「結局、全クラブのキャプテンが集まる会議に出て『創部したい』という主旨を述べましたが、試合ができる11人以上の選手を集めないと認めないとか、予算が出ないとか言われました。その時、佐竹さんが答えて下さって、認められましたね。」

福家「ユニフォームも何も無くて、ボールだって男子のを貸してもらいました。女子と男子と、大きさ違いましたか?」

中江「それは、定かでないね。」

福家「ボールで悩んだことは無かったですね。男子のを借りて、コートも男子の練習を横に寄ってもらって、私たちも練習させてもらいました。」

太田「それが、設立の瞬間ですよ!」

福家「そお!そお!キャプテン会議の時に、田中先生と3人で行きまして、認められた時ですよ。私が高二になって直ぐでしたから、昭和30年の春のことでしょうか?」

柳「菊井(福家)さんの一つ上も、名簿に載っていますよ。」

福家「そうね!私の上に、三人、北野さん、徳美(箕浦)さんと、もう一人いらしてバスケットボール部から引き抜かれて来られました。バスケットは全国大会に出ていたんですって!」

中江「その当時、バスケット、強かったあ!」

額田「ものすごく強かってん!」

太田「ええ!そうすると、一つ上は、まだ、認可されていなかったということですか?」

柳「いいえ。もう一人の伊藤(旧姓:藤原)さんにお聞きしたら、『私達は菊井(福家)さんらが中心になって初められた時に、一年上で一緒に入った』と言われていましたよ。その後で、辻本さんからのメールを見て、あ〜!やっぱり!と思いました。」

福家「女子部ができ、山中さんがスローインを一人ずつさせてポジションを全部、即、決められました。私には、キーパーしなさいと!」

福家「11人いなかったから、山中さん達が、バスケの方はたくさんいらしてコートで練習するにもいっぱい待ってはったのを見て、3人、引き抜かれて11人集まったんです。だから、

一年生が一人休んだら、試合ができないんです。」
 福家「それでも、11人制と、7人制で試合を重ねて、強くなって、**ベスト4**になったんですよ。当時は同点になるとキャプテン同士がジャンケンして決めていましたね。」
 額田「ジャンケンでベスト4？」
 柳・中井「額田先生、私らも三位になったことあるんですよ。」
 福家「すごいでしょ。私たちもベスト4になっていますの！」
 川上「強かったんですね！」
 福家「いえ、いえ。ほんとはベスト16ぐらいの力だったんですけど。私、ジャンケンでいつも勝つんです。」
 川上「その時の試合の点数は、何対何ぐらいですか？」
 福家「0対0！」
 川上「え！点が入らないの？」
 福家「私、試合になったら、絶対、頑張りますから！試合前に相手チームの練習をよく見るんです。そこで選手の癖とか、あるでしょ。試合で、この人は、どこにくるか？一瞬で分かるんです。」
 太田「福家さんがキーパーでしたね。」
 福家「下手なんですけどね。」
 太田「いやー、でも、今の子らにもそう言います。体が小さかったりしたら、やっぱり読みで勝負せなあかんと。」
 福家「逆を見ながらシュートする人とか、試合前に相手の練習でシュートの癖を見てね。... 出来立てほやほやのチームやからね、頭、使わんと！」
 福家「ユニフォームもありますしね。みんなブルーのセーター持っていましたから、それを着て来なさいって。」
 川上「セーター？」
 福家「そう！それで、一応、ブルーのセーターで試合に出ましたら、男子が必ず応援に来てくれていました。」
 中江「創部の時の部長は、田中さや先生でした？」
 福家「そう。田中さや先生。ボーナスがすごく良かったんですよ。試合が済んだら、全員にあん蜜をおごってくれました。ご馳走になって、わー！先生、すごなお給料やねって。」
 中江「女子の職業としては、先生って、一番いいんとちゃう？絶対そうやと思う。」
 額田「そりゃ、男女、給料、一緒やもん。」
 川上「それは、そうと、中江さんは、よくもはったんでしょ。」
 柳「中江先輩に憧れて入部する女子が多かったですよ。」
 中井「中江先輩、格好良かったですからね。」
 柳「ああ、そうだ！11人制から7人制へは、いつ変わったんでしょ？」
 福家「最初は、11人、屋外で。7人制は、後から室内で。両方やりましたよ。」
 柳「ジャンプシュートはありましたか？」
 福家「吉川さんは、7人制でジャンプシュートされてました。」
 額田「井上(中井)さんのジャンプシュート、ものすごい綺麗なフォームだったなあ。」
 柳「そお、そお！」
 額田「ジャンプした足の折れ具合、ほんと、絵にかけろよ。」
 太田「是非、OG戦に出て下さい。」
 井上「今はもう投げられませんか。まだ、走るだけなら、大丈夫ですけど。」
 太田「福家さんらの年代のOGで、現役にお話を聞かせてやってください。」
 中江「そらあ、この円満な家庭の大先輩にお話をしてもらったら、ええで！」
 太田「昨年、柳さんがOG戦に出られたのが、現役にものすごいインパクトを与えています！」
 柳「私、おっちょこちよいで、直ぐ調子に乗ってやっちゃって。」
 太田「今度は、男性陣も呼んで来ていただきたいですね。」
 川上「本日は、お集まりいただき、誠にありがとうございました。7月4日の感謝デーと総会・懇親会で、またお会いできますのを楽しみにしています。」

昨年、「第51回近畿高等学校ハンドボール選手権大会」出場に貢献した**射手矢なづき**さんが、今春、卒業した61期生の中で「文武両道に秀で、他の範となる人物」と認められた者に贈られる、「平成20年度**大阪府教育委員会賞**」(全卒業生の中で一名)を受賞し、卒業式に先立って参加者全員の前で表彰されました。

射手矢さんは、二年生の秋「平成19年度大阪府高等学校**新人大会**」での活躍(**南ブロック大会優勝!**)が認められ、「南ブロック優秀選手」に選出されました(20年10~12月)。続く「平成19年度大阪府高体連ハンドボール専門部主管地区選抜対抗戦」に出場し、南ブロックチームの総合優勝に貢献しました(21年2月)。三年生になって「平成20年度**インターハイ大阪府予選大会**」(20年4~6月)の上位5校に勝ち残って、本校**女子ハンドボール部創部以来、初の近畿大会出場**を果たしました。

「近畿高等学校ハンドボール選手権大会(**近畿ベスト16**に進出)」(20年7月末)、夏の「大阪府高校**秋季総合体育大会**(**南ブロック大会優勝!**)」(20年8月)での活躍は、めざましく、大阪府下12名のみが選出される「大阪府高体連ハンドボール専門部**平成20年度優秀選手**(女子の部)」に選出されて、専門委員長より表彰状および記念品を授与されました。

射手矢さんの活躍と今回の受賞を、是非、会報に掲載したいと考え、原稿執筆を依頼しましたところ、次のメールが届きました。

61期生の**射手矢なづき**です！ (2009/3/12)

昨年の年間優秀選手に選んでいただきました。こんな賞をいただけたのは本当にみなさんのおかげだと思っております。

いつも試合の応援にかけつけてくださり、後輩たちと一緒に応援していただき、本当に力になりました。1年生の時から目標にしていた**近畿大会にも出場**することができ、本当にいい経験になりました。

OB・OG戦ではパワフルなプレーでいつも驚かされ、「私たちもまだまだ頑張らないと」と励まされていました。その他にも合宿や用具などの援助もしていただき、本当に、部員一同感謝しております。この高校生活は、ほとんどハンドボールづけでしたが、みんなで汗や泥まみれになりながら頑張ったことは、一生の宝物です。

私はもう今年で卒業し、次は援助していく側になるのですが、**後輩達はまだまだ頑張っております**のでこれからも男女共々高津高校ハンドボール部をよろしく願いいたします m(__)m

あっ！最後に報告です!!!
 この度無事**大阪教育大に合格**しましたあー\(^o^)/パチパチ。

大阪教育大はハンドボール全国ベスト4に入るほどの強豪校ですが今までやってきたことをいかして、私はハンドボールを続けていこうと思っております。監督も太田先生の先輩ということなので、なにかの縁と思い、頑張りたいと思います。

応援よろしく願いします(^o^)
 射手矢なづき(高61期)

射手矢さん、大阪教育大学、合格、おめでとう!!
 前校長 **田中保和先生**(現:大阪府教育委員会 教育監)が、『本当に素晴らしい生徒さんで**高津の誇り**です。』とお誉めの言葉を述べられたとおり、「文武両道」で頑張られたご褒美でしょう。今後の大学リーグでの活躍が、誠に楽しみです!

また、クラス担任とクラブの顧問として、太田先生のご指導の賜物だと思います。

将来、是非、母校の教員となって、後輩を指導してください。
 (編集:中野元博[高26期])

7月 4日(土)午後2時 OB・OG 感謝デー 高津高校に集まろう!



OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい!

近畿大会
開会式!



祝 高津高校女子ハンドボール部近畿大会出場

高津高校ハンドボール部OB・OG会



皆様の御支援に感謝申し上げます、7月4日(土)午後2時~5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

- 皆さん、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配の方々には現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体に優しく・楽しい催しを企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 子供さんは現役が面倒を見ますので、ご家族でご参加ください。
- 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。

昨年、大阪府立高津高校創立90周年に現役女子ハンドボール部がインターハイ大阪府予選大会において、堂々の大阪府5位入賞を果たし、大きな夢であった『近畿高等学校ハンドボール選手権大会』へ出場しました。詳細をOB・OG会のホームページ“<http://kozu.handball.iinaa.net/>”にてご覧ください。kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛に御芳名と卒業期をご連絡頂ければ、現役の活躍をメールにてお知らせ致します。また、<http://kozu-hand.blogspot.com> OB・OG会のブログへ皆様の思い出をご投稿ください。

総会・懇親会は、7月4日、6時、高津ガーデン(8階たかつ西)で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分 TEL.06-6768-3911 (天王寺区東高津町7-11)

2008年度 決算

2008/04/01~2009/03/31

繰越金収入	2007 年度 繰越金	223,115
年会費収入	3000×81名	243,000
寄付金収入		154,000
総会費収入	7000×47名	329,000
総会費	2008年総会会場払	▲327,054
現役補助費	ユニフォーム等購入	▲313,649
会報費	印刷・発送費等	▲71,575
通信費	はがき 切手他	▲113,800
事務消費費	用紙等事務用品	▲9,430
雑費	振込手数料,壮行祝等	▲5,400
雑収入	銀行利息	59
差引残高	次年度繰越	108,266

会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2009年度 会費 3000円
又は 寄付金を納入して頂く方へ

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG役員

【会長】 川上貴司 (高19期)	【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期) 渡邊齋頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 今中啓旦 太田正人 門田昌司
【副会長】 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 玉井牧子 (高28期)	【財務幹事】 清水 昇 (高20期) 井崎克史 (高20期)	【事務局】 川上貴司
【顧問】 橋本靖雄 (高3期)	【会報編集】 中野元博 塚正泰之	

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2009年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座名
「高津高校ハンドボール部OBOG会
会長 川上貴司」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒor キフを付記ください

※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
カイヒor キフ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com



第 6 号

発行日 2010年5月1日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第6回 OB・OG会 総会 開催される



2009年7月4日 於 上六 高津ガーデン

本年(2010年)の感謝デーと総会は、7月3日 (土) です

2009年 感謝デー・総会(第6回) スナップ写真集

OB・OG戦 この勇姿を御覧下さい!



昭和30年代中期第1期黄金期

毎年のOB・OG会で過去に大阪府第1位となった話が語り継がれていますが、今般私が持っている手元資料により、皆さんにこの辺りの情報をアーカイブス的にお伝えしてご記憶に留めていただきたいと思います。あえて第1期と銘打ったのは、この21世紀にできるだけ早い時期に第2期黄金期を創りあげてもらいたいという祈りがこもっているからです。

1. 昭和34年の大阪府大会での2回の優勝

昭和34年3月に「大阪府新人大会」で始めて優勝の栄冠に輝き、3位がベストの定位置の成績で、常にもう一息のところまで涙を流し続けていたハンドボール部の歴史上、初めての大阪府第1位を手に入れることができました。このように、昭和34年は、輝かしいスタートを切りました。

この高津の新戦力がさらに力をつけて、続く5月5日に「大阪府民体育祭大会」で優勝を果たしました。その戦いの経過は、次のとおりです。

- 1回戦 高津 19 - 7 住吉高
- 2回戦 高津 10 - 2 佐野工高
- 3回戦 高津 8 - 7 豊中高
- 準決勝戦 高津 11 - 6 桜塚高
- 決勝戦 高津 12 | 6 - 7 | 9 三国ヶ丘高
| 6 - 2 |

省みますと、良くて3位が定位置の雌伏の数年間、夏期合宿や日常の練習において、榎本、津田（関学大）中江（同志社大）等の諸先輩が「地獄の特訓」的練習を我々に実施していただきました。特に、基礎練習という辛い足腰強の訓練（スロー・ダッシュを繰り返す時間の長いインターバルラン、兔跳び等）、それに加えて何回も繰り返す実戦形式のフォーメーション訓練、これらは文字通り血の小便が出るような厳しいものでした。

しかし、結果としてこの基礎体力をつける基本訓練（地獄の特訓）の積み重ねが優勝という成果に結びついていったものと考えられます。

これらの猛烈な練習による我等の汗と涙は、高津高のグラウンドの土が十分に吸い込んでおり、また天はこの猛烈な努力を正当に評価してくれました。

2. 昭和34年近畿大会は悔しい第3位

5月の大阪府第1位で「近畿高校ハンドボール選手権大会」への出場権を得て、同月16日・17日の両日、和歌山県開催の大会に出場することができました。

しかし、残念ながら強豪の兵庫県代表の兵庫工高（前年の昭和33年度全日本選手権大会第2位高）に準決勝戦でわずか1点差のビハインドで惜敗し、無念の第3位にとどまりました。



試合の経過は、次のとおりです。

- 1回戦 高津 16 - 10 市和商高（和歌山第2位）
- 2回戦 高津 14 - 8 育英高（奈良第1位）
- 準決勝戦 高津 9 | 5 - 6 | 10 兵庫工高
| 4 - 4 | （兵庫第1位）

なお、我が高津に準決勝で勝利した兵庫工高は、同大会で優勝高となりました。この準決勝戦は、試合前からの雨上がりの悪コンディションのグラウンドで高津得意のドリブル攻撃が完全に封じられ、また前半試合開始直前のボックスの拙守により、この1点のビハインドを最後まで跳ね返すことができず惜敗の涙を流したのです。

3. 昭和34年 全日本選手権大阪大会で 無念の第2位

同年6月21日の決勝戦において、ライバル高の三国ヶ丘高に先の府民大会での雪辱を無念の1点差で喫し、全日本選手権大会出場の切符を逸しました。

その試合経過は、次のとおりです。

- 1回戦 高津シード校として不戦勝
- 2回戦 高津 8 - 3 堺工高
- 3回戦 高津 17 - 9 泉陽高
- 準決勝戦 高津 15 - 11 八尾高
- 決勝戦 高津 8 | 2 - 7 | 9 三国ヶ丘高
| 6 - 2 |



雨中の近畿大会での悪夢の覚めやらない折、またまた今回の決勝戦も雨中での試合となりました。試合開始前に大雨に見舞われ、小降りになってホイッスルが吹かれ、直前の雨でグラウンドはまさに田んぼ状態で試合が始まりました。近畿大会と同じく高津得意のドリブル攻撃が完全に封印されて、前半は苦戦でした。後半は、雨も上がりグラウンドもやや乾きだしたため得意のドリブルが効を奏して追い上げに全力を投じたのですが、時遅く後1点のところは無残なゲームセットとなり惜敗の膺を噛みました。

雨天の悪条件のぬかるんだグラウンド対応の戦い方についての意識（ドリブル攻撃から短いパス攻撃への戦術転換）に欠けていたのも事実でしたが、同じ誤りの修正のための練習が身に付いていなかったのも事実で、これが同じパターンの敗因の全てであったと思います。

昭和35年は、34年度の浅野、西原、生野等の強力3年生メンバーの卒業もあり、大きな成果を得ないまま、一つの黄金期が終了しました。

4. 昭和34年 大阪室内大会も第3位で涙

当時は、冬季については屋外の11人制から室内での7人制ハンドボールが一般的な時代であり、当然に11月頃からは、7人制の練習をしました。時々、他の部活から体育館を借りて室内仕様での練習をしました。

この大会については、手元資料がありませんが、この12月男子ハンドボール室内大会（冬季のみ実施）では、3年生が受験勉強ということもあり、善戦空しく定位置の第3位となりました。もし、どなたか関連資料をお持ちでしたら、OB会事務局にご提出ください。

5. 昭和37年 第14回全日本ハンドボール大会 (高松宮杯) への出場

この年、社会人代表チームとして、当時高津OBの大学生、社会人の混合メンバーによる「高津クラブ」を結成して、先ず大阪大会予選に出場しました。大阪での予選大会を勝ち抜いていき、決勝戦で社会人チームの「丸紅飯田」に勝利して、高津初めての栄誉ある大阪代表になりました。

同年8月19日に高松宮ご夫妻を迎えて、山口県下松市・徳山市両市で男子25チーム、女子19チームの全国代表約600人が参加して開催されました。

我が高津クラブは、第1回戦に法政大学と試合しましたが、勝利の女神に見放されてしまいました。この全国大会に高津OBとして出場したという事実をご存知でない方も多くおられると思い、本誌にてお知らせしたいと考えました。

(なお、この全国大会に係わるデータ関係は、私の手元に有りませんので、残念ながら詳細な経過をお知らせすることができません。もし、データをお持ちでしたら、ハンドボールOB会事務局にお届けください。)

6. 後記

今日、「三丁目の夕日」などの映画や各種テレビドラマなどで昭和30年代をテーマとして懐かしむ風潮がみられますが、この時代の流れの中で、アンティークな高津ハンドボール部の30年代の一端をお知らせしました。

第1期黄金時代は、上記のとおり竜頭蛇尾で終わりましたが、21世紀に第2期黄金時代を迎える日が一日も早く到来する祈りをこめて、この拙文を発表します。厳しい鍛錬と部員の努力の結集で大きな成果を生み出す実践をしたことは、高津ハンドボール部の歴史の中で価値有る輝きの一つとしてご記憶いただければ幸いです。

(高校13期 ビテカンこと 渡邊 齊顯)

*参考文献 高津高校PTA新聞(昭和35年2月24日号)、高津新聞(昭和35年6月号)、同(昭和35年7月号)、讀賣新聞(昭和37年8月20日号)

尾上 良宏 校長を訪ねて



2009年6月5日 於 母校校長室

昨年6月、着任早々の第20代 尾上 良宏 新校長を川上会長が表敬訪問され、ハンドボール部顧問の太田先生とともに、クラブ活動へのご支援をお願いしました。

7月3日(土)午後2時 OB・OG感謝デー 高津高校に集まろう!



皆様の御支援に感謝申し上げます、7月3日(土)午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

- 皆さん、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配の方々には現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体に優しく・楽しい催しを企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 子供さんは現役が面倒を見ますので、ご家族でご参加ください。

現役の活躍を携帯電話で読めるメールでお知らせしています。**メーリングリストへの登録**は御芳名と卒業期を kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛にメールください。

OB・OGの近況をお便りください。**ホームページ** <http://kozu.handball.iinaa.net/> や会報に掲載する記事、OB・OG会へのご要望・ご意見など、ご連絡ください。また、**ブログ** <http://kozu-hand.blogspot.com> へ皆様の思い出・エピソードをご投稿ください。

総会・懇親会は、7月3日、6時、高津ガーデン(8階たかつ西)で開催します。

近鉄 上本町駅 北東へ徒歩3分 TEL. 06-6768-3911 (天王寺区東高津町7-11)

2009年度 決算

2009/04/01～2010/03/31

繰越金収入	2008年度 繰越金	108,266
年会費収入	3000×74名	222,000
寄付金収入		234,510
総会費収入	7000×43名	301,000
総会費	2009年総会会場払	▲258,249
現役補助費	ボール等購入	▲110,050
会報費	印刷・発送費等	▲69,787
通信費	はがき 切手他	▲106,760
事務消耗費	用紙等事務用品	▲10,050
雑費	振込手数料、壮行祝等	▲0
雑収入	懇親会費残・銀行利息	5050
差引残高	次年度繰越	315,934



会費納入・寄付金のお願い!

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費等を充実させるには寄付金も必要です。何卒、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き **2010年度 会費 3000円**
又は 寄付金を納入して頂く方へ

同封の郵便振替用紙を使用頂くか
銀行振込をお願いします

2010年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座名
「高津高校ハンドボール部OBOG会
会長 川上貴司」

【振込人名】には卒業年度と
カイヒor キフを付記ください
※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
カイヒor キフ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期)</p> <p>【財務幹事】 清水昇 (高20期) 井崎克史 (高20期) 杉田圭子 (高25期) 中川雅博 (高33期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)</p> <p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳朝子 (高11期)</p>	<p>【選任幹事】 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 金銅康之 (高32期) 村口紀子 (高32期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田弘 岡本昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 中野元博 金銅康之 村口紀子</p>
--	--	---



第 7 号

発行日 2011年5月5日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第7回 OB・OG会 総会 開催される



2010年7月3日 於 上六 高津ガーデン

本年(2011年)の感謝デーと総会は、7月2日 (土) です

2010年 総会(第7回) スナップ写真集

総会の様子を御覧下さい!



東日本大震災で被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。OB・OGの皆様には被災された方々の支援を実行されている方も多いことでしょう。皆で力を合わせ、一日も早く、復興を成し遂げましょう。



☆ 高校ハンドボール生活の果実 ☆

昨年7月の総会で、今年の「会報」の原稿寄稿の依頼を受け、安引き受けしたものの、ハンドボールと離れておよそ50年、何をテーマにしたものかと、漠然と意識の片隅に置いていたのであるが、3月に入って「部誌」なる冊子が送られてきた。

送り主は、高津ハンドボール部 OB・OG 会、広報担当副会長の中野元博氏（高26期）で、同窓会館に保存されていた「初優勝記念号『部誌』高津高校ハンドボール部（昭和37年1月発行）」を復元し、簡易製本したものであると添え書きしてある。原本はガリ版刷りで青インクが劣化していて、読み辛いところは修正修復するなど大変ご苦労された様子で、まことにその情熱には頭が下がる思いであるが、同時に「先輩、去年の約束、忘れていないでしょうね。早く書いてくださいよ。」と催促されているようでもある。

昭和37年1月といえば、当時私は高校2年生であるが、この「部誌」なるものに全く記憶がないのである。同期の3人が、これに寄稿しており、そのうちの一人、鈴木君に確認してみたが、「そんな事、あったのかなあ」という返事であることからして、よくぞこんなもん見つけたものだと感心するばかりである。

ともあれ、当時の校長や、顧問、先輩諸氏、現役生の寄稿文を読ませてもらったが、これはこれで貴重な資料であることは間違いない。

高津ハンドボール部の歴史や戦績ばかりでなく、喜びや苦しみなど、それぞれの心の葛藤も綴られており、まことに興味深い。

私は高校15期（昭和35年入学）であるが、部誌から推測するに、高津ハンドボール黄金期の最後であったらしい。

記録を見ると、高校11期に全盛期を迎えて、5年間くらいは、大阪で常にベスト3を維持していたようである。その間、昭和34年の大阪府新人大会と府民体育大会で優勝、インターハイや国体予選でも常に優勝を争っていた事が分かる。後に社会人や学生ハンドボール界で活躍されたスーパーヒーローが当時のメンバーであった事と、それ以前の大先輩諸氏が、心血を注いで高津ハンドボール部の隆盛にご尽力された賜物であると推察する。

「部誌」は初優勝記念として発行されたものらしいが、何の初優勝記念かを説明している記述が見当たらない。中に「高津クラブの近況」という記事があり、昭和36年11月、大阪総合選手権で大阪クラブに勝って優勝したことが報告されている。これを契機に「部誌」を編纂する事になったのであろう。

記憶をたどると、私が高校2年の時に、OBで結成されていた高津クラブが大阪府大会において、当時、体育大学出身者で固めていた大阪クラブを破って優勝したことを思い出す。何せ半世紀前のことなので、克明にお伝えできないのは残念であるが、我が高津クラブは学生と社会人の寄せ集めチームであって、常にベストメンバーで臨めたわけではなく、「よく勝ったなあ」という印象である。メンバーに穴が空いた時、私を含めて現役高校生数名が、駆り出されもしたが、この優勝で、翌年、山口県下松市で行われた全日本総合ハンドボール大会の出場権を得たのである。（私も下松市の大会に、穴埋め要員として参加した事を覚えている。この辺の件りは、今年の会報誌に高校13期の渡辺斉顕氏が寄稿されている。）

私たちは、現役時代よく負けた。特に3年生が近畿大会終了後に引退されてからの1、2年生チームはよく負けた。相手が強くても弱くてもいつも接戦の好勝負をしていたように思う。「部誌」の鈴木君の寄稿によると、2年生の秋11月までの戦績は12勝12敗1分と記録されている。弱小チームに負けると、チーム全体が打ちひしがれた空気に包まれることもしばしばであったが、一方で、この頃は、先輩諸氏の計らいで、大学チームや社会人チームとも対戦したので「むべなるかな」との思いもある。

昭和37年春、高校ハンドボール生活最後の挑戦となる近畿大会予選を兼ねた府民体育大会は、準決勝で宿敵寝屋川高校に敗れたが、3位決定戦に勝利して京都での近畿大会に出場することができた。3位決定戦の相手がどこだったかは覚えていないが、勝利の瞬間、当時の寝屋川高校の中出監督が歩み寄って来られて、「よかったな」と声を掛けて頂いたことは今でも忘れられない。

近畿大会はまたしても苦手の雨中戦となり、一回戦ボーイの汚名を返上できなかった。対戦相手は京都の洛星高校で、延長に入り、勝機があったにもかかわらず一点差負けとなり、まことに悔しい思いをした。事後談だが、この大会は雨に祟られ、順延続きで決勝まで勝ち上がった洛星は、定期考査にぶつかって棄権してしまったと聞く。「さすが進学校やな、俺らやったらやっとな」と大笑いしたものである。ちなみに優勝は寝屋川高校であった。



『部誌』 原本表紙
昭和 37 年 1 月発行



松村・鈴木・西本・三木・奥村
黒岡・今村・今中先生(顧問)・岩瀬
昭和 37 年 6 月 (高校 3 年) 近畿大会後に撮影

当時、高津のライバル校は、寝屋川と三国ヶ丘であり、今と違って公立高校が私立高校を圧倒していた。中でも、我が高津ハンドボール部は、専任の監督、コーチを持たず、優秀な先輩諸氏が指導に当たっている特異なチームで、これも我々の誇りの一つであった。

私が高校入学後ハンドボールを選んだのは、しばらく様子見した中で、ただ強いだけでなく、文武に優れた先輩を輩出している事を知ったからである。もっとも、私自身は、徐々にハンドボールの虜となって、文を置き去りにした事をいまだに悔やんでいるが、それでもクラブ生活から学んだことは計り知れない。

私が 1 年生の頃は、先輩のユニホームを持ち帰って洗濯したり、練習後は一つ一つのボールにワセリンを塗り、用具の片付けをしたり、初めの頃は練習といえば体力作りの基礎練とボール拾いが日課であった。これに反発する仲間も居たが、私は比較的従順であったように思う。

夏の合宿について、部誌に先輩方も書かれているが、今思い出しても地獄のような一週間であった。水は飲むな、腰を下ろすな、そして炎天下で部員の数より多い何倍もの先輩が、入れ替わり立ち代りノックやランニングを強いるのである。終わると息も絶え絶え「ありがとうございました」。

苦しくも残酷な合宿であったが、この OB の情熱こそが高津ハンドボールの伝統を作り上げたのだと思うのである。その後、さらに OB・OG 会が充実し、現役を守り立てようという機運の下に、今日の会に発展したものである。

私の現役時代は、中江義雄氏 (高 10 期)、浅野和郎氏 (高 12 期)、林 毅氏 (高 13 期) という錚々たる先輩が学業の合間を縫って指導していただいたものであり、生意気を承知で申し上げると、三人三様の個性的な指導方法は、私にとって貴重な経験であり、今でも血肉の一部になっていると確信している。

物の本によると、「孝」という字は、「老」に「子」を合わせたものであり、老、即ち先輩・長者と、子、即ち後進の若い者とは断絶することなく、連続して一つに結ぶというところから「孝」という字が出来上がったと解説されている。そして先輩・長者の一番代表的なものは、親であるから、親子の連続・統一を表すことに主として用いられるようになったが、本来は「孝」とは親に孝行という意味だけでなく、先輩・後輩と長者・少者の連続・統一がなければ進歩・発展がないということを表している、とある。

私たちは、高津ハンドボールクラブに所属し、先輩・後輩がますます絆を深める機会を大切にしたいものである。

私がこの原稿を書いている時は、東日本大震災の報道が、ちょっと落ち着いた頃である。同期で OB・OG 会にも顔を出している、福島県いわき市在住の西本由治君の安否について、先輩の中江さんから、鈴木君を通して「西本と電話が通じた。無事である」旨の第一報を頂き安堵した次第であるが、一方で、粘り強く連絡を取らなかった自分を恥じ、この歳になって又一个先輩に教えられたのである。

良き師、良き友を得ることは至福の極みであるが、その意味においても私が高校でハンドボールを選択した事は、大正解であったと今更ながら思うのである。

岩瀬 政治 (高 15 期)

7月 2日(土)午後2時 OB・OG 感謝デー 高津高校に集まろう!

**総会・交流会は、7月2日
午後5時、高津高校 記念館
(同窓会館)で開催します。**

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月2日(土)午後2時～5時、

- 皆さん、久しぶりに現役とのゲームを楽しんでみては如何ですか!
- 年配の方々には現役との混成チームでゲームを楽しんでもらう他、7mスロー大会など体に優しく・楽しい催しを企画しています!
- 軽い運動ができる服装をご持参ください。
- 子供さんは現役が面倒を見ますので、ご家族でご参加ください。
- 体育館が使用できないため、雨天の場合は5時にお集りください。

7月2日(土)午後5時、集合写真撮影(於 同窓会館前)

総会前にOB・OGと現役の集合写真を撮影します。総会后、現役との交流茶話会を同窓会館で開きます。(同窓会館に裏面で紹介の『部誌』が展示されています。)OB・OG会では、現役の活躍を携帯電話で読めるメールにてお知らせしています。(メーリングリストへのご登録は kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛に御芳名と卒業期をメールください。)OB・OGのご活躍を伝える写真・近況をご連絡ください。会報への掲載、ホームページ <http://kozu.handball.iinaa.net/> ブログ <http://kozu-hand.blogspot.com> あるいは記念誌などでご紹介させていただきます。

**懇親会は、7月2日、6時半、シェラトン都ホテル大阪 トップオブミヤコ [21F]
で開催します。(地上21階からの眺望と、バラエティ豊かなバイキングでお楽しみください。)**

近鉄 大阪上本町駅直結 TEL. 06-6773-1111 (大阪市天王寺区上本町6-1-55)

2010年度 決算

2010/04/01~2011/03/31

繰越金収入	2009年度 繰越金	317,199
年会費収入	3000×77名	231,000
寄付金収入		159,700
総会費収入	7000×29名	203,000
総会費	2010年総会会場払	▲180,317
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲365,380
会報費	印刷・発送費等	▲70,098
通信費	はがき 切手他	▲85,004
事務消耗費	用紙等事務用品	▲6,334
雑費	振込手数料、インカレ広告	▲26,417
雑収入	銀行利息	31
差引残高	次年度繰越	177,380

懇親会費:7,000円

但し、卒業後4年間:
高60,61期は4,000円、
高62,63期は2,000円
で優待します。多数の
ご参加お待ちしております。
(次期OB・OGの
高校3年を無料招待
します。)

**会費納入・寄付金
懇親会費 送金
のお願い!**

会報発行など当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付金も必要です。何卒、現役を守り立てるために、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き **2011年度 会費 3,000円と
寄付金を納入、懇親会費を送付して頂く方へ**

同封の郵便振替用紙をご使用頂くか
銀行振込をお願いします

2011年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座
名
「高津高校ハンドボール部OB・OG会」

【振込人名】には卒業年度と
コンシンカイヒ等を付記ください

※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
キフ or コンシンカイヒ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期)</p> <p>【財務幹事】 木村圭子 (高25期) 中川雅博 (高33期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)</p> <p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期)</p>	<p>【選任幹事】 渡邊齋頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 金銅康之 (高32期) 村口紀子 (高32期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 中野元博 金銅康之 村口紀子</p>
--	--	---



第 8 号

発行日 2012年5月5日

大阪府立高津高等学校ハンドボール部 OB・OG会会報

高津ハンドボール

第8回 OB・OG会 総会 開催される



2011年7月2日 於 高津高校 同窓会館前

**本年(2012年)の感謝デーと総会は、7月14日(土)です。
午後2時～感謝デー、5時～総会・交流会(於 高津高校)、
6時半～懇親会(於 百楽 :近鉄大阪上本町駅 北へ徒歩1分)**



☆ 私とハンドボール ☆

高10期(昭和33年卒)中江 義雄
(現 関西学生ハンドボール連盟会長)

私とハンドボールとの出会いは、高校に入学し、部室の前を通りかかった際、夕陽丘中学校の先輩で高8期の西田先輩に偶然出会ったことから始まりました。西田さんは、中学の時からの特待生(京都大学卒)で生徒会長をされ、尊敬する先輩でした。

小学生時代はドッジボールや相撲で抜群の能力、中学時代は陸上の他、あらゆるスポーツで活躍していた小生ですが、(お陰で女性にモデル?)... 勉強は疎かになりがちでした。何とか改心の上、高校ではスポーツに没頭するのは止め、勉学に励みたいと考えていましたが、憧れの西田先輩がハンドボール部員と知り、口説かれ、入部してしまいました。以来、ハンドボール浸けで、今秋、73歳を迎えるにも拘らず、関西学生ハンドボール連盟(以下、学連と略す)会長の重責に引っぱり出され、今もって足を洗うことができていません。

高校入学時の自己目標からは少し乖離しましたが、長く取り組んできたハンドボール人生を決して悔やんでおりません。寧ろ”ハンドボール”に携わったこと、出会ったことが私の人生の大きな支えに成ってくれたと感謝しています。その一つは、わが国ではハンドボールと言うスポーツは、野球やサッカーと違い、マイナースポーツの域を抜け出せていません。しかし、私は、狭い国土の日本で、男女が取り組み、スポーツの基本である走・投・跳他の基本動作が含蓄されていて、スピード感に溢れ、スリル満点のこんな楽しいスポーツを、何とかメジャースポーツに普及発展させたいと常々考え、多くの人達に訴え、お願いして参りました。そうした苦勞が、己の人生に”張り”と幅を与えてくれたと信じています。

第二は、ハンドボールに携わったお陰で、多くの先輩、後輩、友人に恵まれ、大きな”人的財産”を得ることができたことです。高津時代では、3期 橋本、佐々木、5期 額田、上田、6期 山中各先輩に物心両面で優しく、支援を賜り、7期 榎本、津田先輩の高度なプレーの他、厳しさをご指導いただきました。後輩の医師である林、鈴木(栄)には、若き時代、鼻の手術に立ち会っていただき、現在でも額田先輩には歯の治療とハンドボール以外にもお世話になり、たいへん有り難く思っています。また、田中さや、今中啓旦先生にもご指導、ご迷惑をお掛けしました。特に田中さや先生にはハンドボールの女性部長として、大学レベルで強烈な指導をされる先輩と、現役高校生との間に入られ、ご心労をお掛けしました。両先生ともハンドボールの専門家ではなかったのですが、本当に熱心にご指導いただきました。昭和32年最終学年に大阪府民大会初の3位、近畿大会出場の成果を挙げられたことが、せめてもの恩返しになったと信じています。これを契機に次年度からの府民大会優勝を始め、40年代までの黄金時代が築かれたのでは? と自負しています。

第三は、お陰で高校卒業以降、過分の”晴れ舞台”に出させて戴いたことです。高津ハンドボール部では上記先輩の献身的なご指導で、着々と基礎固めが出来始め、昭和30年代中期に大きく花が開きました。当時の様子は会報6号(2011.5.1日号)に13期の渡邊君(愛称ピテクカン)が詳しく投稿されていますので、再読してください。

当時、関西学生リーグでは、前記の榎本、津田、10期 服部(関西学院大学)、7期 広田(大阪市立大学)、9期 辻本(大阪府立大学)、8期 西田、11期 石崎、12期 浅野、生野、井口(京都大学)、13期 増田、中江(同志社大学)、13期 林(大阪歯科大学)他、多数の高津OBが活躍していました。このほかにも漏れておられる方もあるでしょうが、まさに高津の黄金時代でした。先輩後輩が各大学に分かれ、まるで高津OBが分かれて対抗戦をしていたようなことを思い出します。

選抜軍辛くも勝つ

世界7人制ハンドボール 日本代表―大阪選抜 大阪に一点差

来る月一日も強行の選抜軍は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

大阪選抜の選手は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

大阪選抜の選手は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

分業が中心の選手を擁し、大阪選抜の勢は、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

大阪選抜の選手は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。大阪選抜は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。



シュートならず 後半20分、日本代表F.W.山田、シュートするも大阪選抜F.W.中江にカットされ、得点ならず(G.K.光島)

日本選抜チーム対大阪選抜試合結果

2月4日 午後5時 大阪府立体育館

選手	ポジション
山田	F.W.
中江	F.W.
光島	G.K.



さきょうハンドボール社行試合

三月一日から三月三日までの間は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

大阪選抜の選手は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

大阪選抜の選手は、大阪府立体育館に集結し、大阪選抜と対戦した。

当時の関西学生ハンドボールリーグ(11人制)は主に西宮球技場で開催しており、現在では及びも付かないでしょうが、テレビで中継され、朝日、毎日、他のスポーツ各紙で大きく戦績や選手名が掲載されて、その上、阪急電車の駅ポスターで日程表が目につくほど素晴らしい状況でした。阪急との交渉や新聞記者への御願いは、私がプレーヤー兼学連委員長として、馬場太郎先生(日本体育大学出身=桃山学院大学教授)の強烈なお力を借りながら東奔西走し、成果を挙げたことを思い起こします。当時はハンドボールの方が、完全にサッカーよりも人気のあったことをお分かりいただけだと思います。まさに私の”勲章”の一つです。

1961年(昭和36年)西ドイツで7人制世界選手権があり(7人制に切り替わる時期)、その壮行会で大阪選抜チームに選ばれて京都大学から選ばれた浅野君と共に健闘し、芝浦工業大学中心の全日本戦抜に17対16で破れはしましたが、2得点を挙げ、会場の大阪府立体育館満席の観衆に大きな拍手をいただきました。これもまた、ABCテレビが中継した他、今では考えられない素晴らしい大会でした。楽しい思い出の一つです。

同年の秋、4年生で関西学院大学を始めて破り出場した同志社大学(関西)と芝浦工業大学(関東)との東西学生王座決定戦(於服部球技場)や、高松宮殿下の参列を賜った第二回全日本学生選手権(於西宮球技場)を持ちました。皇族参列の大会を設営できた”勲章”付の思い出です。

社会人になったの思い出は、昭和40年前半、朝日新聞の営業に勤務の傍ら、大学の監督を3年間務めました。厳しい勤務環境の中ですから、他校と異なり、学生主体で監督とは名ばかりでしたが、幸い優秀な選手に恵まれ、45年にはインカレ決勝戦で日本体育大学に敗れて準優勝に終わりましたが、チームワークの大切さ、緻密な戦略の大切さを学びました。それ以降、母校同志社大学の優勝は、成就出来ていませんが、飯田、中井、宮下のオリンピック選手を3名輩出する快挙を遂げられました。これもまた、心に残る素晴らしい思い出の”勲章”です。

書き尽くせぬ思い出、”勲章”は多々有りますが、40~50歳台は残念ながら、ハンドボールに没頭する余裕は無く、社業に専念したため、書き残すことはあまりありません。ただ、ハンドボールで鍛えた体力・精神力のお陰で、悔いのない人生を送れました。

最後に、スポーツ新聞社のトップになり、その功労で園遊会に夫婦で招かれるご褒美をいただきました。苦勞させた家内への唯一のプレゼントでした。

昨今の高津ハンドボール部は苦難の時代が続いていますが、私たちの後、17期 佐藤(大阪大学)、18期 久岡、19期 川上(関西学院大学)他、優秀な選手が大学・社会人の監督やOB会長他として高津ハンドボール部の伝統を継いでいただき、嬉しい限りです。また、30期 太田(筑波大学)は母校の監督として献身努力、特に女子部の飛躍を図っていただいています。49期 平澤(筑波大学OG=国体大阪選抜選手)。最近では61期 射手矢(大阪教育大学4年=インカレ優勝)など優秀選手が頑張っており、今後の後輩の活躍を楽しみにしています。最後に学連の会長として、パンフレットに”高津高校卒”の名前が増えることを夢見しています。(敬称略)

7月 7日(土) 午後2時 OB・OG 感謝デー

皆様の御支援に感謝申し上げます、7月7日(土) 午後2時～5時、高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

● 体育館が使用できないため、雨天の場合は5時にお集りください。

7月7日(土) 午後5時、集合写真撮影(於 同窓会館前)

昨年の感謝デーの様子を御覧下さい!



午後5時、総会・交流会を
高津高校同窓会館(記念館)
で開催します。今年も集まろう!

総会前にOB・OGと現役の集合写真を撮影します。総会后、現役との交流茶話会を同窓会館で開きます。(同窓会館に別紙で紹介の『部誌』が展示されています。) OB・OG会では現役の活躍をメールにてお知らせしています。kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛にメールください。ブログ <http://kozu-hand.blogspot.com> ホームページ <http://kozu.handball.iinaa.net/> あるいは記念誌などでご紹介させていただきます。

50年前の「部誌」復刻版の配布希望を別紙FAXやメール等で事務局宛てにお知らせ下さい!

午後6時半、懇親会を「百楽」
で開催します。上本町駅 北へ徒
歩1分：天王寺区上本町6-2-31
TEL.06-6768-2221 百楽本店 宴会場

2011年度 決算

2011/04/01～2012/03/31

繰越金収入	2010年度 繰越金	177,380
年会費収入	3000×65名, 2000×4名	203,000
寄付金収入		227,000
総会費収入	7000×24名	168,000
総会支出	会場払	▲250,725
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲210,585
会報費	印刷・発送費等	▲102,039
通信費	はがき 切手他	▲77,260
事務消耗費	用紙等事務用品	▲0
雑費	振込手数料	▲9,365
雑収入	銀行利息	27
差引残高	次年度繰越	125,433

懇親会費:7,000円

但し、卒業後4年間:
高61,62期は4,000円、
高63,64期は2,000円
で優待します。多数の
ご参加お待ちしております。
(次期OB・OGの
高校3年を無料招待
します。)

会費納入・寄付金
懇親会費 送金
のお願い!

会報発行など当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付金も必要です。何卒、現役を守り立てるために、絶大な御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2012年度 会費 3,000円と
寄付金を納入、懇親会費を送付して頂く方へ

同封の郵便振替用紙をご使用頂くか
銀行振込をお願いします

2012年度
会費納入
郵便振替
用紙

三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金NO.3999316口座名
「高津高校ハンドボール部OBOG会
会長 川上貴司」

【振込人名】には卒業年度と
コンシンカイヒ等を付記ください

※※※ 書き方例 ※※※
「高津太郎 コウ99キ
キフ or コンシンカイヒ」

【事務局】〒542-0074
大阪市中央区千日前1-4-8
千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内
川上貴司
Tel.06-6213-1901
Fax.06-6213-4903

E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期)</p> <p>【財務幹事】 木村圭子 (高25期) 中川雅博 (高33期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)</p> <p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期)</p>	<p>【選任幹事】 渡邊斎頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 金銅康之 (高32期) 村口紀子 (高32期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 中野元博 金銅康之 村口紀子</p>
--	--	---

高津ハンドボール

第9回 OB・OG会 総会 開催される



2012年7月14日 於 高津高校 同窓会館前、百楽 本店
本年(2013年)の 第10回記念 総会と懇親会は、
7月 6日 (土) 夕方 6時 ~ 8時、百楽 本店
(近鉄 大阪上本町駅 北へ徒歩1分) で開催します。



☆ 半世紀前の思い出・点描 ☆

今中 啓旦

私は現在80歳の老人である。私が高津高校に勤務したのは、1957年4月1日から1981年3月末までの24年間である。その間ずっとハンドボール部の顧問であり続けた。私は英語担当の教員である。それまでは、ハンドボールとは全く縁のない生活を送っていた。足を使ってゴールに蹴り込むのが「蹴球」つまりサッカー、手でシュートするのが「送球」つまりハンドボールである、というくらいの知識しか持ち合わせていなかった。実際にプレイしたことは一度もなかった。

では、そんな私がどうしてハンドボール部の顧問になったのか、その事情はこうである。高津に赴任した4月、2年生の英語の授業を終えて廊下に出ると、当時ハンドボール部のキャプテンだった石崎寿夫君が近づいて来て、唐突に「顧問になってください」。その時の私は24歳。石崎君にしたら、この若くて大きな声で話す元気そうな教師ならいいのではないかと、というくらいの思いがあったのだろう。そこで私は一瞬躊躇したが結局引き受けてしまったのである。いづれはどこかのクラブ顧問にならねばならないと言われていたという事情もあった。授業と授業の合間のわずか10分間の休憩時間中での、廊下での立ち話の即断であった。

その年の夏休み中の合宿の厳しいトレーニングは忘れられない。先輩が入れ替わり来校して指導するのである。厳しい基礎練習である。歯を食いしばり顔をしかめてがんばる選手たち。小休止の時間には、じっと涙を堪える者がいる。所かまわず寝転ぶ者もいる。合宿中の教室に戻ろうと階段を登るにも痛む脚を引きずり顔を歪める者もいる。先輩は、後輩たちを鍛えて、より強いチームにしたい一心に、入れ替わり立ち代わり来校してくれるのである。しかし、現役生の心中を推察するに、もう堪忍してくださいよ、と叫んでいるように、その苦渋に満ちた顔、顔、

顔から伺い知ることができる。ハンドボールの実体験がなく、ただ見守っているだけの顧問である私の一番辛い部分である。夏の教室での宿泊環境は劣悪である。教室の床にごさを敷いて、その上で布団や毛布にくるまってごこ寝をするのだが、真夏の教室は蒸し暑い。私などはなかなか眠れない。それでも、くたくたに疲れている選手たちは、すぐに寝入ってしまう。合宿中の唯一の楽しみである食事は、地下の学校食堂でクラブごとに固まっていた。

そんなしんどい合宿中、私がかたまー一瞥し、今も記憶に残っている一つのシーンがある。それは、教室で皆がゴロゴロ寝転がりながらくつろいでいる時、ひとり教室の腰板にもたれて、両脚の上に教科書を開いている者がいた。キャプテンの石崎君の姿だった。えらいヤツだなあ、と思った。彼はキーパーなので、練習も集中的に特訓を受けていたので、疲労も極度に貯まっていたことだろうに、である。

合宿が明けて、練習が再開される頃には、みんなが元気溘刺、身が軽くなり、軽快に跳び廻るのだから不思議である。それだけ全身の筋力が強くなり、技術も向上しているためだろう。ところが、他校との対校試合となると、事情はきびしい。相手も鍛えられている。当時は、ハンドボールでは、公立校が強かった。強い学校にはハンドボールが専門の顧問が指導に当たっているところが多かった。高津では、技術指導はすべて先輩頼みであった。それでも、高津は強かった。府内では、いつもトップグループにいた。近畿大会にも何度か出場した。試合は土曜日・日曜日や休日に行なわれるので、選手は辛かったことだろう。しかし、どの試合にも必ず先輩たちがやって来て、指導・助言・声援してくれた。有り難いことである。公式戦には専任の教員の付き添いが義務づけられていたので、試合のたびに休みの日がつぶされることは、私には本当に辛いことではあった。ある年の女子ハンドボール部の公式戦に、いつものように付き添って行った。試合は阿倍野区にある大谷高校のグラウンドで行われた。その試合にも、男子も女子も両方の先輩たちがたくさん来てくれていた。試合中も、選手の一挙手一投足に声援・助言が賑やかに乱れ飛んでいた。突然、その試合のレフェリーが試合を中断させて、こちらに向かって一喝した。「高津ベンチ、やかましい！」。その時のあのレフェリーの赤い顔と大きな声。今でも忘れられない。

これには後日談がある。1981年4月に、前述したように、私は高津を退職した。大谷女子短期大学英語英文学科へ転出したのである。48歳だった。当時のキャンパスは、大谷高校と隣接していた。正門を入るとすぐ高校のグラウンドがある。ある時、たまたま、あの時のあのレフェリーが、ハンドボール部員の指導をしているのが目に入った。あの試合の相手校の校名も、そのスコアも忘れてしまっていたが、あの顔は忘れられない。事務室で名前を確かめた。それは保健体育科の木村方紀先生であることが判明した。私よりだいぶ若い先生である。後日、高校へ出向いて行って、木村先生にその件について話すと、「そんなこと、ありましたか？」と言って頭を掻きながら大笑いされた。

強いチームには良い指導者がいる。高津は顧問が素人であったが、先輩が代行して指導してくれた。しかし、ついに高津にもハンドボール部の先輩で、現役時代はポイントゲッターとして活躍した太田寛人君が、母校の保健体育科教諭として赴任し、クラブ活動ではハンドボールの指導に当たってくれている。とりわけ、女子ハンドボール部は強くなっていると聞いている。嬉しいかぎりである。しかし、最近は教員の勤続年限が厳しく言われ、この太田先生もそろそろ転出するかもしれない、とのことである。

最後に、今中道夫君について言及して終わりにしたい。昨年の夏に、ハンドボール同窓会の川上貴司会長から電話があり、「今中道夫先輩を覚えておられますか。同窓会へ出席されて、今中先生のことを尋ねておられました」とのことだった。私と同姓だし、私が担任した学年の生徒だったから、もちろんよく覚えている、と答えた。私は生徒から「ケイタン」と呼ばれていた。幼少からの呼び名は「ヒロアキ」であるが、高津ではこのように正しく呼ばれたことは一度もなかった。私は「ケイタン」と呼ばれることは仕方がないことではあるが、今中道夫君までもが、からかわれて「ケイタン」と同級生から呼ばれていたのである。気の毒だと言おうか、申し訳なく、すまない気持ちでいっぱいであった。川上会長からの電話で瞬時にそのことを思い出したのであった。道夫君にとっては、迷惑なことであったにちがいない。

高津で私は5回卒業生を送り出し、最後の6回目のサイクルでは、1・2年生と持ち上がった後、高津を去ることとなった。その間、ハンドボール部とも関わり続けた。思い出は尽きることはない。



(2013年3月記)

昨年のご報告の様子を御覧下さい！



今年は第10回の記念総会です！

7月6日(土)午後6時、
総会・懇親会を『百楽』で

開催します。上本町駅 北へ

徒歩1分：天王寺区上本町6-2-31
TEL.06-6768-2221 百楽本店 宴会場

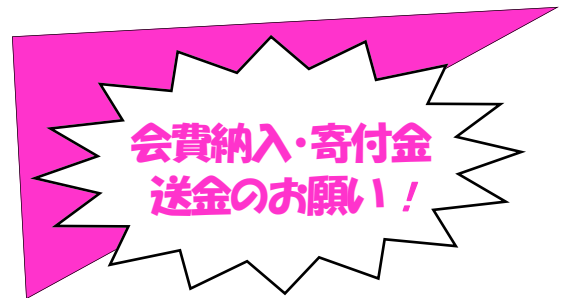
懇親会費:7,000円 は、当日、会場受付にて現金でお支払いください。但し、卒業後4年間:高62,63期は、4,000円、高64,65期は2,000円で優待いたします。同封の葉書にて出席をご連絡ください。追加の出席もOB・OG会の事務局宛メールにて受け付けております。多数のご参加をお待ち申し上げております。

諸般の事情で 今年は 感謝デー を開催致しません。全 OB・OG (約 650 名)の皆様に会報を発送するのは、印刷・通信費の負担が重く、本号までに止める方針を第 10 回総会にお諮りします。今後、 発送費の不要な WEB 掲載を主とし、希望者のみに郵送する方針について ご意見を伺いたく OB・OG 会の事務局：kozu.handball.ob.og@gmail.com 宛へメールください。WEB 掲載は、[ブログ http://kozu-hand.blogspot.com](http://kozu-hand.blogspot.com) 及び [ホームページ http://kozu.handball.iinaa.net/](http://kozu.handball.iinaa.net/) [Facebook http://www.facebook.com/KozuHandball](http://www.facebook.com/KozuHandball) をご覧ください。10 周年記念企画としてクラブ誌を編纂致したく、お写真など情報を事務局へお寄せください。

2012年度 決算

2012/04/01～2013/03/31

繰越金収入	2011年度 繰越金	125,433
年会費収入	3,000×66名	198,000
寄付金収入		226,560
総会費収入	7,000×24名	168,000
総会支出	会場払	▲189,950
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲114,300
会報費	印刷・発送費等	▲100,710
通信費	はがき、切手他	▲81,550
部誌製本費	部誌復刻版印刷・発送費	▲66,308
雑費	印刷用紙、振込手数料他	▲5,830
雑収入	銀行利息	25
差引残高	次年度繰越	159,370



当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付金も必要ですので、御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2013年度会費 3,000円と
寄付金の納入を銀行振込でお願い致します

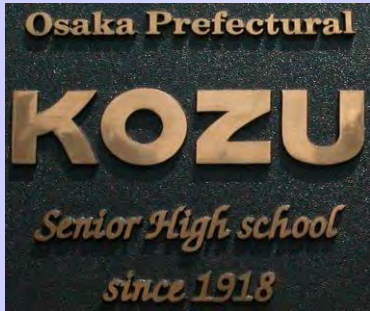


三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金No.3999316
口座名「高津高校ハンドボール部OBOG会 会長 川上貴司」

【事務局】〒542-0074 大阪市中央区千日前1-4-8 千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内 川上貴司 Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com

大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

<p>【会長】 川上貴司 (高19期)</p> <p>【副会長】 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期)</p> <p>【財務幹事】 木村圭子 (高25期) 高岡政男 (高33期) 林 正則 (高33期) 古川直樹 (高33期)</p> <p>【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期)</p> <p>【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期)</p>	<p>【選任幹事】 渡邊齋頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 金銅康之 (高32期) 村口紀子 (高32期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)</p>	<p>【特別会員】 (旧職員) 村田 弘 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美徳</p> <p>【事務局】 川上貴司</p> <p>【会報編集】 中野元博 金銅康之 村口紀子</p>
--	--	--



高津ハンドボール

第10回 OB・OG会 総会 開催される



2013年7月6日 於 百楽 本店

総会・懇親会 スナップ写真集



**2014年の 第11回総会と懇親会は、7月5日(土)夕方5時半～
百楽 本店 (近鉄 大阪上本町駅 北へ徒歩1分) で開催します。**

高津高校における男子ハンドボール部の歴史は、昭和 23 年（1948 年）新制高等学校の発足とともに始まりました。それ以前、旧制中学の男子校時代、当時の校長 羽生 隆 先生の教育方針により、対外試合をする運動部は全く無く、その代わりに、バスケットボール、バレーボール、フットボール（サッカー）、テニス、送球（ハンドボール）という 5 種目のいずれかに全校生徒が属し、週 1 回、所定の曜日の放課後に運動して、11 月初めで開催される「校内球技大会」の 3 日間に及ぶトーナメント制クラス対抗試合の順位による得点の 5 種目合計で総合優勝を争った様子が、中学 22 期小西英博 先輩の「部誌（昭和 36 年 11 月高津ハンドボールクラブの大阪総合選手権 初優勝記念号）」への寄稿で詳しく紹介されています。昭和 14 年頃には、大阪府立の旧制中学校のほとんどが運動部を持ち、対外試合をして全国大会等にも出場していた中であって、高津中学の校内球技大会方式は特殊でしたが、ともすると偏りがちな運動に全員が選手として参加するというこの方法は、それ自体一つの教育的見識を表すものとして相当高く評価されていたそうです。

昭和 23 年の学制改革により、清水谷高校（旧制清水谷高等女学校）と生徒・教職員を交流して男女共学の新制高等学校が発足し、高津高校でも対外試合をする運動部が創部され、翌年 8 月には野球部が第 31 回全国高等学校野球選手権大会に大阪府代表として出場しました。男子ハンドボールの創部に関しては、高校 3 期の先輩達（敬称略：橋本靖雄、上田眞生、烏野栄一、乙田善弘、菊山 清、塩谷 修、白江 保、田口貞夫、津田 巍、徳山順一、轟 正行、中田 健、長岡 徹、西口正孝、原田英樹、菱川泰夫、和田 健、高橋政浩）が 2 年生になられた昭和 23 年、当時 3 年生の部員は一人もいない中、2 年生の同志が集まって自分達の手でクラブを創り上げ、キャプテン 橋本靖雄先輩を中心にがっちりチームワークを固めて活動されていたと、田中さや先生が「部誌」巻頭に「伝統」というタイトルで紹介されています。田中先生曰く、当時の優等生・模範生で占められたクラブで、上級生から下級生へ、先輩から後輩へと指導する伝統が、創部以来、受け継がれていったそうです。当時は、昭和 23 年の学制改革で高津の体育科の先生方の転任が相次ぎ、また、創部時の顧問 岡本 昭 先生は家業の会社社長でお忙しく、昭和 24 年に 村田弘先生と田中さや先生が赴任されて後任の顧問となりました。しかし、村田先生は 1 年で転勤され、その後 35 年間、三国丘高校に転任されてハンドボール部顧問として多くの名選手を育て、昭和 31,34,40,42 年とインターハイに出場する強豪チームを率いられました。村田弘先生ご自身も、全日本チームの選手として活躍された後、昭和 42 年に全日本男子チームの監督に就かれ、それからは第 6 回世界選手権大会（スウェーデン）、第 7 回世界選手権大会（フランス）、そして昭和 47 年のミュンヘン・オリンピックに出場され、その後、大阪ハンドボール協会の常任理事に就任されましたが、2013 年 11 月 11 日、享年 90 歳でご逝去されました。村田先生という実にすばらしいハンドボールの指導者に恵まれる機会が昭和 24 年度の 1 年間だけありましたが、高津に勤務されていた当時はお忙しくて、つきっきりのコーチなど望めない状況であったと田中さや先生が「部誌」に書かれています。創部当時、顧問の岡本先生の関係で大阪歯科大学の方々にコーチして頂いたそうですが、高校 3 期の橋本靖雄先輩・佐々木蔵雄先輩達が OB となると、寸暇を惜しんで現役の指導に来られ、その後、5 期 額田晃作先輩・上田孝先輩・渡辺巖先輩、6 期 山中将司先輩と受け継がれ、長く OB が現役をコーチするというクラブの伝統が築かれていきました。そして、1954 年（昭和 29 年）、7 期の榎本秀一郎先輩・津田祐司先輩・廣田淳二先輩・松田一彦先輩達が 3 年生の時に、8 期 西田武彦先輩、9 期 佐竹貞夫先輩・辻本陽之助先輩達のメンバーで、大阪府大会においてベスト 4 に入りました。また、社会人チームとして高津 OB の大学生と社会人の混合メンバーによる「高津クラブ」が結成されました。

一方、女子ハンドボール部は、昭和 30 年（1955 年）4 月に当時の 3 年生（高校 8 期）徳美（現姓：箕浦）恭子先輩、北野（豊田）喬代先輩、藤原（伊藤）聆子先輩、2 年生（高校 9 期）部長の菊井（福家）清美先輩、俊足の吉川（高本）登志子先輩、長身の石丸（浅田）幹子先輩、剛腕の北島（榊取）恭子先輩によって創部され、直に 1 年生（高校 10 期）の荻原（浅田）節子・岩瀬美弥子・波木（木田）康子・山口（長屋）幸代・前川（野中）寿々子らの先輩達が入部されました。当時は 11 人制で、1. 菊井、2. 平塚、3. 波木、4. 山口、5. 岩瀬、6. 松尾、7. 荻原、8. 吉川、9. 石丸、10. 森、11. 田中のレギュラーメンバーで試合に臨み、当初は連戦連敗でしたが高校 5 期の額田晃作先輩のコーチで試合を重ねる度に強くなって、昭和 31 年 2 月の冬季 7 人制大阪室内大会初出場で 3 位入賞と健闘されました。当時の様子について顧問の田中さや先生が「女子ハンドボール部の誕生」の題目で「部誌」に詳しく紹介されており、2009 年発行の OB・OG 会報 第 5 号に「女子ハンドボール 創部の思い出!!!」にも詳述されています。



1954年(昭和29年)
体育祭記念写真



1956年(昭和31年)
高津クラブ名古屋遠征のスナップ



第3回全日本学生室内ハンドボール選手権大会



1956年(昭和31年)
高津クラブ名古屋遠征のスナップ



1956年(昭和31年)12月全日本室内選手権
高津クラブ第1回戦対全芝浦工大に大敗
(7人制最初の促成チーム公式戦)

昭和30年(1955年)卒(高校7期)松田一彦先輩の1954年大阪府大会ベスト4の思い出アルバムより

男子ハンドボール部は、OBの物心両面における支援と、10期中江義雄先輩・服部勝一先輩・西正嗣先輩他、多数の諸先輩の熱心な指導で強化され、ついに昭和34年3月、「大阪府新人大会」で始めて優勝の栄冠に輝き、5月には「大阪府民体育祭大会」で2回目の優勝を果たしました。続いて近畿大会では第3位、全日本選手権大阪大会では第2位、大阪室内大会は第3位と、11期石崎寿夫先輩、12期浅野和郎先輩・西原康夫先輩、13期林毅先輩・井口邦男先輩・斎藤英俊先輩・増田健先輩・渡邊齊顯先輩他のメンバーで黄金期を創りあげられました。この詳細は、高校13期渡邊齊顯先輩が2010年発行のOB・OG会報第6号「☆高津ハンドボール部アーカイブス☆」で紹介されています。それぞれ進学された大学のハンドボール部でも活躍され、関西学生リーグで高津OBが各大学に分かれて対抗戦をしていたという「高津の黄金時代」でした。そして、高津OBの大学生と社会人の混合チームによる「高津クラブ」が、昭和36年には大阪総合選手権を勝ち抜いて初優勝し、荣誉ある大阪代表となって、昭和37年に山口県下松市で開催された第14回全日本ハンドボール大会(高松宮杯)に出場されました。男子25チーム、女子19チームの全国代表約600人が参加して開催され、高津クラブは第1回戦に法政大学と試合しましたが、勝利の女神には見放されました。この初優勝を記念して「部誌」が昭和37年1月に発行されました。この詳細は、高校15期岩瀬政治先輩が2011年発行のOB・OG会報第7号「☆高校ハンドボール生活の果実☆」にて紹介されています。

その後も、高校12期浅野和郎先輩、15期橋本泰彦先輩、17期佐藤健二先輩、18期久岡敏博先輩、19期川上貴司先輩他、優秀な選手を輩出してきました。2006年には、OB・OG会報第3号に掲載のとおり、49期平澤あず先生(此花総合高校)が「のじぎく兵庫国体」に国体大阪選抜選手として出場されました。

2013年までは、30期太田寛人先生が母校の監督として献身努力され、優秀な選手を育てられました。特に、女子部の飛躍が図られて2008年には、めでたく『第51回近畿高等学校ハンドボール選手権大会』への出場が果たされました。この時の活躍で、61期射手矢なづき選手が、大阪府教育委員会賞と年間優秀選手を受賞し、大阪教育大に進学後は2012年のインカレ優勝に貢献するなど、今後も活躍が期待されます。

現在、ハンドボール部の顧問は、社会科の大前雅嗣先生と前田美穂先生です。大前雅嗣先生は母校1975年(高校27期)卒業生であり、前田美穂先生は三国丘高校時代にハンドボール部に所属され、昭和24年度母校顧問の村田弘先生に指導を受けられたというご縁で結ばれています。高校のクラブ顧問はボランティア業務にも関わらず、責任を負いますのでご苦勞をお掛けしています。創部当時から長く続いた「OBが現役をコーチする」という伝統が復活できれば良いのですが、現役を指導するには大学や社会人チームでの選手や体育教員でなければ難しい状況であり、OB・OG会としては、チーム登録料や強化合宿費用の補助など財政面の支援で現役の活躍をサポートしてクラブの継続を見守りたいと思います。

副会長 中野元博 (高校26期)

昨年の総会・
懇親会の様子
を御覧下さい!



7月 5日(土)午後2時 OB・OG 感謝デー



皆様の御支援に感謝申し上げます、7月5日(土)午後2時～4時、
高津高校グラウンドに於いてOB・OG感謝デーを開催します。

● 体育館が使用できないため、雨天中止とさせていただきます。



総会・懇親会は7月5日午後5時半

『百楽』で開催します。

上本町駅 北へ徒歩1分
天王寺区上本町6-2-31
TEL.06-6768-2221

懇親会費7,000円 は会場受付にて現金でお支払いください。
但し、卒業後4年間:高63,64期は4,000円、高65,66期は
2,000円で優待します。出席を FAX: 06-6213-4903 ・
EメールにてOB・OG会事務局宛にご連絡ください。

多数のご参加をお待ち申し上げております。



全 OB・OG (約 670 名)の皆様に会報を発送するのは、
印刷・通信費の負担が重く、前号までに止める議事を
第 10 回総会にて承認頂きました。本号より、 発送
費の不要な WEB 掲載を主とし、希望者のみに郵送致
しております。ご意見など、OB・OG 会の事務局：
kozu.handball.ob.og@gmail.com ヘメールください。
WEB 掲載は、ブログ <http://kozu-hand.blogspot.com>
及び ホームページ <http://kozu.handball.iinaa.net/>
Facebook <http://www.facebook.com/KozuHandball> をご覧
ください。10 周年記念企画としてクラブ誌を編纂致
したく、お写真など情報を事務局へお寄せください。



2013年度 決算

2013/04/01～2014/03/31

繰越金収入	2012年度 繰越金	159,370
年会費収入	3,000×48名	144,000
寄付金収入		133,000
総会費収入	7,000×37名	259,000
総会支出	会場払	▲195,000
現役補助費	チーム登録料、ボール等	▲60,480
会報通信費	印刷・発送費等	▲127,126
雑費	印刷用紙、振込手数料他	▲840
雑収入	銀行利息	31
差引残高	次年度繰越	311,955



大阪府立高津高等学校ハンドボール部OB・OG会役員

【会長】 川上貴司 (高19期) 【副会長】 片岡純夫 (高23期) 筒井享子 (高24期) 塚正泰之 (高26期) 中野元博 (高26期) 【財務幹事】 木村圭子 (高25期) 林 正則 (高33期) 古川直樹 (高33期) 【顧問】 橋本靖雄 (高3期) 福家清美 (高9期) 【選任幹事】 中江義雄 (高10期) 柳 朝子 (高11期)	【選任幹事】 渡邊齋頭 (高13期) 許斐建樹 (高14期) 鈴木栄太郎 (高15期) 久岡敏博 (高18期) 稲葉良幸 (高20期) 早島知雄 (高20期) 片岡純夫 (高23期) 安田永子 (高24期) 玉井牧子 (高28期) 山本裕子 (高28期) 太田寛人 (高30期) 村口紀子 (高32期) 藤本一典 (高32期) 高岡政男 (高33期) 前川義信 (高34期) 平澤あず (高49期)	【特別会員】 (旧職員) 岡本 昭 今中啓旦 太田正人 門田昌司 前田美穂 大前雅嗣 【事務局】 川上貴司 【会報編集】 中野元博 村口紀子 藤本一典
--	--	---

当会を運営するためには皆様の会費収入が不可欠です。
また、現役補助費(チーム登録料等)を充実させるには寄付
金も必要ですので、御協力をお願い申し上げます。

趣旨に賛同頂き 2014年度会費 3,000円と
寄付金の納入を銀行振込でお願い致します



三菱東京UFJ銀行 生野支店
普通預金No.3999316
口座名「高津高校ハンドボール部OBOG会 会長 川上貴司」

【事務局】〒542-0074 大阪市中央区千日前1-4-8 千日前Msビル7階
光洋商事株式会社内 川上貴司 Tel.06-6213-1901 Fax.06-6213-4903
E-mail: kozu.handball.ob.og@gmail.com